

令和3年 予算審査特別委員会 会議録

招 集 年 月 日	令和3年3月12日（金曜日）			
招 集 場 所	伊江村議会議事堂			
開 議	3月15日 10時00分 内間広樹委員長宣言			
散 会	3月15日 15時59分 内間広樹委員長宣言			
出 席 委 員 （ 応 招 委 員 ）	2	並 里 晴 男 委 員	8	島 袋 義 範 委 員
	3	虻 江 修 委 員	9	内 田 竹 保 委 員
	5	島 袋 勉 委 員	10	名 嘉 實 委 員
	6	山 城 善 彦 委 員	11	亀 里 敏 郎 委 員
	7	内 間 広 樹 委 員		
欠 席 委 員				
本会議に職務のため出席した者の職氏名	議会事務局長 島袋裕次君 主 事 金城成君			
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	村 長	島袋秀幸君	副 村 長	名城政英君
	教 育 長	宮里徳成君	総 務 課 長	宮城弘和君
	住 民 課 長	平敷兼清君	会 計 管 理 者	東江民雄君
	福 祉 課 長	新城米広君	農 林 水 産 課 長	西江忍君
	農 林 水 産 課 参 事	玉城正朝君	政 策 調 整 室 長	内間常喜君
	商 工 観 光 課 長	島袋英樹君	教 育 行 政 課 長	万寿祥久君
	医 療 保 健 課 長	山城直也君	建 設 課 長	知念利次君
	公 営 企 業 課 長	亀里裕治君	農 業 委 員 会 事 務 局 長	大城篤君
総務課長補佐	富山維佐子君			
議事日程及び会議に付した事件	別紙のとおり			
会 議 の 経 過	別紙のとおり			

令和3年予算審査特別委員会議事日程（第2号）

令和3年3月15日（月）午前10時00分 開 議

日程	議案番号	件名
第1	議案第4号	令和3年度伊江村一般会計予算（質疑）

○ 委員長 内 間 広 樹 君

ただいまから、2日目の予算審査特別委員会を開きます。

(開議時刻10時00分)

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程に入ります。

日程第1 議案第4号 令和3年度伊江村一般会計予算を議題とします。

歳入、款ごとに質疑を許します。

1款村税。1ページから6ページ。3番 虻江 修委員。

○ 3番 虻 江 修 委員

村税に関して伺います。新聞報道によれば、県税の納税猶予17億8,000万円、このコロナ禍でできているんですけど、実際村のほうで納税猶予の制度を利用した件数及びその税額、これがいくらぐらいになっているのか。これが全部が全部、滞納繰越に行くとは思っていないんですけど、その辺の内訳を願いますか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

住民課長 平敷兼清君。

○ 住民課長 平 敷 兼 清 君

2年度に入りまして、このコロナの影響で、国税を含め、県税、村税含めて徴収猶予の制度が大々的にPRされました。村内の状況でございますが、現在法人の住民税で2件の申請がございます。2件で27万円の申請がございます。それと固定資産税のほうで、5月に1件ございました。1件で2万8,000円の申請がございましたが、途中解除しまして、納付全納していただきました。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

ほかに質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。2款地方譲与税。7ページから10ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。3款利子割交付金。11ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。4款県民税配当割市町村交付金。12ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。5款県民税株式等譲渡所得割市町村交付金。13ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。6款法人事業税交付金。14ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。7款地方消費税交付金。15ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。8款ゴルフ場利用税交付金。16ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。9款環境性能割交付金。17ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。10款国有提供施設等所在市町村交付金。18ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。11款地方特例交付金。19ページから21ページ。8番 島袋義範委員。

○ 8番 島 袋 義 範 委員

21ページの新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金について、新設だと思いますけれども、詳しい説明をお願いします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

住民課長 平敷兼清君。

○ 住民課長 平 敷 兼 清 君

この科目につきましては、令和2年の6月定例会におきまして、税条例の一部を改正する条例の中で、新たに創設された制度でございます。新型コロナウイルス感染症に起因して、中小企業が厳しい経営状況に陥っているということで、国の政策として固定資産税の軽減を図るということで、その軽減した分に関して

は全額、国費で対応するという制度でございます。要件としまして、令和2年2月から10月までの任意の3か月間の売上げが前年の同期と比べて30%以上、50%未満減少しているところ、もしくは50%以上減少している事業所、償却資産と事業用家屋を対象としていまして、その申請、受ける前提としては、認定経営革新等支援機構ということで、認定するこの申請の認定を受ける機関がございますけれども、その認定を受けた市町村、伊江村のほうに認定を受けて市町村のほうに提出するという形になります。

この認定経営革新等支援機構というのは、村でいえば商工会が村内で言えば、この役割を担っていますので、商工会で認定を受ければ、市町村のほうに提出してこの減収の申請をすることができる。そして軽減を受けることができるということです。その分を村としては国費で受け入れるという形になっています。

○ 委員長 内間 広 樹 君

ほかに質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。12款地方交付税。22ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。13款交通安全対策特別交付金。23ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。14款分担金及び負担金。24ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。15款使用料及び手数料。25ページから27ページ。9番 内田竹保委員。

○ 9番 内田 竹 保 委員

27ページの農林水産手数料、メジロ飼養登録票の交付手数料、以前にもどなたか質疑したような記憶がありますが、現在の登録してある飼育件数を教えていただきたいと思います。

最近、アーニー・パイルでよくかご、島グチというクーですけれども、捕獲といますか。それをしている姿をよく見受けられるものですから、どのぐらいの件数なのか。それと登録料はいくらなのか。伺います。

○ 委員長 内間 広 樹 君

農林水産課参事 玉城正朝君。

○ 農林水産課参事 玉 城 正 朝 君

メジロの飼養登録件数がただいま10件ありまして、1件当たり3,400円の手数料となっております。

○ 委員長 内間 広 樹 君

ほかに質疑ございませんか。8番 島袋義範委員。

○ 8番 島 袋 義 範 委員

総務使用料の110. パークゴルフ場利用料、これは去年は200万円多分計上されていたと思いますけれども、費目存置になっておりますけれども、これは今回、指定管理をするということでの内容の違いによって、費目存置になったかと思っておりますけれども、この指定管理の内容、よければお願いします。

○ 委員長 内間 広 樹 君

政策調整室長 内間常喜君。

○ 政策調整室長 内 間 常 喜 君

年末ごろから、伊江島カントリーと調整をしまして今、指定管理に向けて詰め調整をしているところでございます。パークゴルフ場を傘下にこのカントリーが指定管理をした場合の収支とか、こちらの今抱えている従業員、雇っている従業員を何人、しっかり継続される方に関しましては、全ての方を雇用していただけということと。またこちらの入場料の取り方、そういったものも含めて、今細かな調整をしているところでございます。委託料の中でこの指定管理料も含めて計上させていただいております。今回この使用料に関しまして、費目存置させていただいているのは、まずは指定管理を前提に予算化はしておりますけれども、歳出のほうではできなかった場合のことも備えて、やってきたところでございます。歳出の

ほうでも説明しましたけれども、4月1日からこの指定管理に向けて、伊江島カントリーとの調整を今、詰めの調整をしているところでございます。

○ 委員長 内間 広樹 君

9番 内田竹保委員。

○ 9番 内田 竹保 委員

27ページですけれども、衛生手数料の中の家庭ごみ処理手数料240万円、これは個人持ち込みですか。ということでの解釈でよろしいでしょうか。燃えるごみ、あるいは資源ごみがありますけれども、個人持ち込みという観点で考えていいのかどうか、伺います。

○ 委員長 内間 広樹 君

建設課長 知念利次君。

○ 建設課長 知念 利次 君

この240万円の手数料は、家庭ごみからの持ち込みの手数料でございます。

○ 委員長 内間 広樹 君

9番 内田竹保委員。

○ 9番 内田 竹保 委員

今、週2回ほど回収車が来て、回収しておりますけれども、指定ごみ袋に入れて回収させるということなのですが、例えば大量に出た場合、個人で搬入するという方がたくさんいまして、島グチでいう「ジョンカイジャーセー、ジニンイジランシガ。ドゥーシムッチイチェー、ジニヤイジュヤ」というようなことが聞こえるものですから、それでいいのかと思ったりもするときはあるんですが、大量になりますと、回収日には大変な苦勞をかけるなということ、個人持ち込みだろうと思えますけれども、どうなのかなと。そこで一回持ち込みしても、多くて四、五百円ぐらいでしょうというような考えもありますけれども、その辺、検討する余地はありますか。

○ 委員長 内間 広樹 君

休憩します。

(休憩時刻10時16分)

再開します。

(再開時刻10時17分)

5番 島袋 勉委員。

○ 5番 島袋 勉 委員

同じく今の衛生手数料に関連して、新聞紙等、私たち花卉農家ではありますが、実際に今、新聞紙等出荷するとき花箱でその中で新聞紙使うんです。今回もあつたんですが、絶対量が足りなくて今現在、村外から購入している状況が出ています。それで現在までに事業所に依頼して、その新聞を出荷時に使えるように、再度折りなおして購入しているんですが、全然間に合わない状況が出ています。それでその2事業所に状況を確認したところ、その原資である新聞紙が集まりづらいと、その新聞紙をどうにか回収できるいい手段といえますか。やり方がないかという話がありました。実際にそれを収集日に出した場合、雨が降った場合、どうしても新聞紙などは雨等で濡れた場合、もう使いづらい状況で、そういった場合に出された新聞紙はもう使いません。それでこれは提言なんです、新聞紙など作業所の皆さんは回って回収してもいいということも言っていましたので、これは1回各公民館等でも調整して、公民館に1回置いていただいて、そこで作業所の皆さんが回って回収できる方法等、できないかなと思ひまして、その辺一回は調整できないかどうか、伺います。

○ 委員長 内間 広樹 君

建設課長 知念利次君。

○ 建設課長 知念利次君

新聞紙は、ごみの回収日に出してもらって、回収車が回収しているんですけど、各作業所、24社のほうでいろいろとこの新聞とかやってもらっているということは聞いております。確かに雨降りとか、そういった場合は濡れて使い物にならないというのは、おっしゃる通りでございますので、こういう新聞は再利用していただいているということであれば、先ほど委員がおっしゃっていた各公民館に持って行って、できるかどうか。これはまた区長とも相談をして可能なのか、一応検討していきたいと思っております。

○ 委員長 内間広樹君

ほかに質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。16款国庫支出金。28ページから31ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。17款県支出金。32ページから35ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。18款財産収入。36ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。19款寄附金。37ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。20款繰入金。38ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。21款繰越金。39ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。22款諸収入。40ページから44ページ。質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。23款村債。45ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

歳入一括して質疑を許します。11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀里敏郎委員

歳入25ページの3目衛生使用料の細節101. 伊江村立聖苑使用料について、教えてください。去る、現場視察の折に、聖苑の管理の方が、「交代する」ということなんですけれども、交代された場合のこの遺族が支払っている手数料等については、従来通りなんですか。

○ 委員長 内間広樹君

建設課長 知念利次君。

○ 建設課長 知念利次君

管理人は交代いたしますけど、手数料等そういったものは全く同じであります。

○ 委員長 内間広樹君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋義範委員

43ページの細節175. 本部港駐車場利用料、これは立体駐車場以外のものの収入と聞きましたけれども、あの駐車場は村がつくっていますよね。幾らかかったのか、お伺いします。

○ 委員長 内間広樹君

建設課長 知念利次君。

○ 建設課長 知念利次君

当時の建設工事費ははっきり覚えていないんですけど、確か1,500万円ほどの工事費だったと記憶しております。

○ 委員長 内間広樹君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋義範委員

これ1年分ですよ。例えば私が言いたかったのは1,500万円かけた。じゃあ290万円、約300万円、5年で元取るんだなあという意味なんですよ。それからいえば、あれは5年で壊れるような駐車場、もっと安

くしていいんじゃないかという感じがしたもので。だけど立体駐車場とも兼ね合わす必要もあるのかと思うわけです。その辺、立体駐車場は屋根があるところと、ほかと村がつくったものと、5年で元取れるという計算ですよ。単純に計算してよ。だからもうちょっと安くできないかという感じが、外の場合は。村長どうですか。そう思いませんか。5年で元取るのであれば、これは1年分でしょう。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

質疑の内容については、ある程度理解できる部分もあります。要するに、議員も同じような料金にしたという経緯は、十分理解はされていると思っておりますが、おっしゃっている立体駐車場、雨とか太陽が出ているときは、利便性が高いです。立体駐車場でも3階のほうは同じなんです。その辺の兼ね合いがあって、村がつくった今、路駐になるんですけど、そういう関連があって、同じような料金にした経緯があると思っておりますので、おっしゃる通りこの1年でこれぐらい入れば、5年では元取るからもっと安めてもいいんではないかという話もありますが、立体駐車場の経緯等やりながら、令和4年度からはじまる北部振興事業において、今村がつくって管理しているところも、できれば同じように県の事業でもっともっと拡充して、そういう施設をつくってもらいたいという要望も今後、精力的に既に要望してありますから、その辺の経緯も見ながら、県ができないというのであれば、北部振興事業で村が事業主体となって、その駐車場を整備していくという考え方も持っていますから、その辺の事業化の方向も見ながら、これと立体駐車場との均衡を図りながら、今後検討はしてみたいと思います。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

この間、現地視察のときに、主な事業計画書に沿って視察をしたんですが、この主な事業計画書の中には、事業費総額が書かれているものと、そうでないものがあります。この主な事業計画書の中に事業費総額とそれから国庫負担金、国庫補助金が出ている省庁について書いてほしいと。特に防衛施設局からどれぐらい出ているかについて、書いてほしいと思います。かつては、村長の施政方針の資料の中に、国庫支出金の中で防衛費、かつては施設庁でした。施設庁から幾ら出ているかという資料がありましたら、長くなりますが出していません。それを出してほしいと思いますが、どうですか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

休憩します。

(休憩時刻10時31分)

再開します。

(再開時刻10時33分)

建設課長 知念利次君。

○ 建設課長 知 念 利 次 君

主な事業計画書の資料の中に、備考欄のほうに一応、省庁の名前を記載いたしますように、次年度は検討いたします。事業に関しまして、今回は県営事業のみ記載されていますので、次年度に向けて検討していきたいと思っています。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

休憩します。

(休憩時刻10時34分)

再開します。

(再開時刻10時34分)

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

質疑の2点目、従前は各省庁ごとの金額というよりは、農林とかその辺で分けていたと思っていますけど、その表ですよ。農林水産業費でいくらか、そういう部分の事業費調書と色をつけていた覚えがあるんですが、それでしたら今後、総務課の中で検討をしていきたいと思っております。相当の業務量とかなければ、委員の質疑の要請に応えていきたいと思えます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

休憩します。

(休憩時刻10時36分)

再開します。

(再開時刻10時36分)

進行します。歳出、款ごとに質疑を許します。

1款議会費。歳出1ページから2ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。2款総務費。3ページから21ページ。2番 並里晴男委員。

○ 2番 並 里 晴 男 委員

歳出5ページの細節122. 移住情報作成委託業務、それから次の移住定住促進整備事業について、お伺いします。まず細節122. の移住情報作成委託業務についてのこの委託業務の内容について、お伺いします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

総務課長 宮城弘和君。

○ 総務課長 宮 城 弘 和 君

御質疑の移住情報作成委託業務につきましては、現在移住コーディネーターがSNS、インスタグラムで移住情報の発信を行っているところでございますが、それは村民の様々な視点や感覚を取り入れて、より忠実な内容にするために、県の地域・離島課の離島テレワーク人材育成補助事業という事業を受託している業者を通しまして、情報発信に興味のある村民の方へ、島の暮らしや行事、生の生活情報の文章をいただきまして、それを取りまとめ精査いたしまして情報発信する業務を委託しまして、伊江村の移住定住情報の充実を図るということになっております。

これにつきましては、そういうテレワーカーの方に文書内容、村民の方にそういう興味がある方にこの文書を提出いただきまして、その文字数だとか、写真掲載によって報酬をお支払いするという事業でございます。これにつきましては、予算で20万円ほど計上させておりますけれども、村民の方にまた新たな働き方の展開もできるのではないかとということで、今回予算を計上させていただいております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

2番 並里晴男委員。

○ 2番 並 里 晴 男 委員

村民の声をテレワークとかで、業者へ発信してその発信を多くSNSで周知する業務だと内容に伺っていますが、この内容、テレワークとかやったときに成果品といいますか。どういうことをやったかというのは、例えば確認というのは、私たちも見れるような状況にあるんですか。それと、いつごろからそういったことが随時、こうやっていくか。例えば期間が半年間ぐらいあって、そこから発信していくのかとどういう状況なのか、お伺いします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

総務課長 宮城弘和君。

○ 総務課長 宮 城 弘 和 君

この委託業務につきましても、これから業者のほうとの調整ということになりますので、それが整い次第ということになるかと思っておりますけれども、月10件程度の記事を移住検討者のほうへ御紹介させていただきたいと思っております。それにつきましても、寄せられた原稿等については、業者のほうでも精査を

いたします。村のほうでもそういう記事が適切なのかということを確認をして、配信するということで、村民の皆さんも確認はできるというようなことになっております。

○ 委員長 内間 広 樹 君

2番 並里晴男委員。

○ 2番 並 里 晴 男 委員

最近の情報というのは、若い者を中心にやはりSNSという情報発信は非常に大切な事業だと思いますので、ひとついい地域情報を提供できるように頑張っていたきたいと思います。

次に細節680. の移住定住促進住宅整備事業についてですが、参考資料のほうに事業概要、計画書がありますが、その中に住宅の供給だと思いますが、何件かお伺いします。

○ 委員長 内間 広 樹 君

総務課長 宮城弘和君。

○ 総務課長 宮 城 弘 和 君

移住定住促進住宅の整備事業につきましては、委員もよく御承知かと思っておりますけれども、沖縄離島活性化事業を活用いたしまして、事業を進める予定でございます。令和3年度に基本計画を策定いたしまして、4年度に設計業務、それと用地の取得、5年度に整備工事を進めるという今、計画で進めておりますけれども、具体的には、今年度を実施いたします基本計画の中で、棟数でありますとか、住宅のタイプでありますとかを検討いたしまして、事業に結びつけていきたいと考えてございますので、今回の提出書類については、あくまでも内閣府との調整の段階で、これにつきましては村民住宅を参考にさせていただいて、この事業費を算出させていただいているということで、御理解いただければと思っております。

○ 委員長 内間 広 樹 君

2番 並里晴男委員。

○ 2番 並 里 晴 男 委員

移住定住促進住宅整備事業ということで、この事業の目的についても伊江村に移住定住の住宅を建設する。それによって移住者が増えて、村民の人口の増につながる事業だと思いますので、大変いい事業だと思います。参考資料のこの事業計画書を見たときに、事業概要はあるけど、規模とか、どういうことかと思ひまして、今回質疑をしましたので、令和3年は基本計画ということなので、ひとつしっかりと事業計画を立てていただきたいと思います。

○ 委員長 内間 広 樹 君

6番 山城善彦委員。

○ 6番 山 城 善 彦 委員

歳出6ページ、細節45. 結婚披露宴助成金と、細節49. 郷友会等船賃割引事業についてなんですが、まず結婚披露宴について、昨年度は何件あったのか伺います。

それと郷友会の船賃割引事業についてなんですが、これは利用者が何人いて、事業費の何パーセントぐらいなのか。これを利用するにあたって、郷友会会員であるということが条件だったと思いますが、勧誘効果みたいなものはあったのか。新規にそういうふうに入った方は何人いたのか。お願いします。

○ 委員長 内間 広 樹 君

総務課長 宮城弘和君。

○ 総務課長 宮 城 弘 和 君

1点目の結婚披露宴助成金につきましては、令和2年度については、利用者がなかったということで0件だったということでございます。

郷友会船賃割引事業につきましては、令和2年度は、コロナ禍の中でその申請等の事務ができなかったということで、令和3年度に向けて今、郷友会の皆さんとも連絡を取りあいながら、今年度コロナ禍が落ち着きましたら、総会時、または郷友会の運動会時に、職員を派遣いたしまして申請受付、会員証それと優待券の発行を行うということで、準備を進めているところでございます。4月23日に、那覇の郷友会のほうで、第1回の役員会があるということで、そこに出向きまして、新たに郷友会の皆さんに船賃割引事業の御説明をさせていただいて、今後におきましても、万全を期してこの割引事業ができますように取り組んでいくということでございます。

○ 委員長 内間 広 樹 君

6番 山城善彦委員。

○ 6番 山 城 善 彦 委員

ということは、まだ実績としては把握していないということなんですよ。もちろん郷友会の総会あたりといいますか、そういう措置というのは、一番大事なことだと思いますが、やはり郷友会に参加させるということも、一つの目的もあるかとは思いますが、どのように周知するのかということも問題だと思いますが、どう考えていますか。

○ 委員長 内間 広 樹 君

総務課長 宮城弘和君。

○ 総務課長 宮 城 弘 和 君

委員おっしゃる通り郷友会の活性化を図る目的でこの事業を進めたという経緯もございまして、郷友会におきましても、この総会時の案内文におきましても、そういう船賃割引事業等の特典があるというようなことを周知させていただいて、多くの方に郷友会に御参加をいただいて、またその船賃割引事業、多くの方が申し込んでいただくようにしていきたいと思っております。

○ 委員長 内間 広 樹 君

5番 島袋 勉委員。

○ 5番 島 袋 勉 委員

歳出5ページ、ちゅら島づくり応援寄付金業務に関してですが、その内容で伊江中学校のマイクロバス購入事業入っていますよね。それで事業予算で919万5,000円、それと基金充当額で900万円、約100%に近い金額が充当されるわけですが、購入するマイクロバスの企画というか、何人乗りを予定しているか。

それと、現状がわからないんですが、本部港に中学校のマイクロバスとワゴン車も以前はあったんですが、両方今管理されているのかどうか、お伺いします。それと今、伊江中学校のワゴン車の状況がどうなっているのか、お伺いします。

○ 委員長 内間 広 樹 君

教育行政課長 万寿祥久君。

○ 教育行政課長 万 寿 祥 久 君

この細節551、ちゅら島づくり応援寄付金を活用いたしまして、最初の教育予算のほうで計上しておりますが、令和3年度に伊江中学校の本部港に止まっているマイクロバスを、基金を活用して代替えをさせていただくことになっております。何人乗りかという御質疑ですけども、29人乗りを今と同じ定員のマイクロバスの購入を予定しております。その他、本部港には伊江中管理で、ワゴン車が2台ございます。こちらもかなり老朽化をしている状況ということで把握はしておりますが、またこれも時を見て必要な時期に更新をしたいということで検討はしておりますが、令和3年度については、まずマイクロバスから更新をするということで計画をしております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

5番 島袋 勉委員。

○ 5番 島 袋 勉 委員

これは多分、入札かけますよね。見積り、三者見積りかどうか、その辺は実証方法に関してはいろいろあると思いますが、村長これもし入札残が出た場合、ワゴン車への切り替えもどうにか検討できないですか。なぜかという、中学校のワゴン車と大分、老朽化が激しくて、今はコロナ禍でいいんですが、普通の年でしたら練習試合等で大分稼働している状況下が出ています。特に中学校の部活だけじゃなく、少年野球とかほかの団体などの使用率も中学校の車両等は、活用率が大分高いという現状があります。もしこの基金充当額、基本100万円、入札残が出た場合、その辺検討できないかどうか。お伺いします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

御質疑の入札残が出た場合ですけど、多分入札残ではこのワゴン車は買えないでしょう。これを深めていくと、これにプラス幾らか加えて、ワゴン車を買うような考え方はないかということで、質疑もあるのかと思っておりますが、私が今答えているのは、教育行政課長、教育長が答えれば、現場は子どもたちの利用の立場から、できればそういう感じで進めたいという答弁になると思ってますから、私が答弁をしておりますが、私はこの車両については、ずっと申し上げておりますが、非常に慎重にヒアリングでも、副村長ほか総務課長に、車両については非常に厳密に精査をするように申し上げています。なぜかという、その後の維持、車検、燃料費、その辺のことが村の予算の物件費の中で、非常に高まってくる。義務的経費を上昇させる大きな要因になりますので、できる限りその辺は精査をして予算計上で手当てをするように言っております。この観点からいいますと、2台のワゴン車の現在の状況を教育委員会の中でしっかりどうなのか。もうあと一、二年でだめなのか。使うのには結構、がたがきているのか。あるいは一番はやはり安全性ですよ。村外で子どもたちを乗せていろんな大会に行きますから、その辺の事柄をしっかり担当課である教育委員会の中で精査をして、その後検討してみたいと思っております。入札残ではなかなか厳しいので、今日の質疑にもありましたので、教育委員会でその2台のワゴン車についても、しっかりとあと何年できるのか。今の現状を精査しながら、対応していくと思っておりますので、それを受けて検討してみたいと思います。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

5番 島袋 勉委員。

○ 5番 島 袋 勉 委員

ぜひ御検討をよろしく願います。両小学生は創立記念事業等終わる段階です。近々また伊江中学校のほうも、何らかの形で創立記念事業が出る可能性も十分あります。

現在までワゴン車等の購入に関しては、PTA予算で基金を積み上げて購入してきた過程があります。PTAの皆さんも大分頑張っておりますが、そういった状況下の中で、今は買えないという状況もあると思っておりますので、創立記念等の事業ベースが近々ある場合には、ぜひ記念事業のときにも、村からの助成等をお願いしたいと思います。以上をもちまして、質疑を終わります。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

6番 山城善彦委員。

○ 6番 山 城 善 彦 委員

歳出7ページ、2目文書広報費の14節工事請負費について、細節111. これは防災無線放送施設整備事業なんですけど、これは令和3年度は、個別受信機を全世帯へ設置するという説明があったと思いますが、工事

時期はいつからやるのか。工事内容は、どういう状況なのか、お願いいたします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

総務課長 宮城弘和君。

○ 総務課長 宮 城 弘 和 君

ただいまの防災無線事業についての御質疑にお答えいたします。この事業につきましては、令和2年度から継続事業ということで、事業を進めておりますけれども、まだ個別受信機については、新たに入札がございます。それで防衛局とも早めの調整を行いまして、早めの入札はできるように進めておりますけれども、入札時期についても、6月か7月になりますと、その後の設置ということになります。これにつきましても全世帯にこの設置をしていくわけでございますけれども、これにつきましてもどこの地域から、こう設置をしていくのかにつきましても、入札後に受注業者としっかりと調整をして、進めていくということになるかと思っております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

6番 山城善彦委員。

○ 6番 山 城 善 彦 委員

これから入札ということで、いろいろとあると思いますが、申し上げたいのは、工事をするときに、この外の工事になるのか、うちの工事になるかわかりませんが、今までの防災無線の工事あたり、お家の中に無線を設置するわけです。そのときに、この業者が何といたしますか。気遣いなしに家に入って、土足ではないですけども、そういう状況でちゃんとした処理をしないで、ずかずかと上がってきてやって、新築のお家はちょっと怒った皆さんもいるという話も聞いていますので、契約のときに、細かいことをやって、迷惑がかからないように一つ、お願いしたいと思います。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

総務課長 宮城弘和君。

○ 総務課長 宮 城 弘 和 君

ただいまの御意見を聞いて、びっくりしているんですが、今回の受注業者につきましては、事前に連絡をしていただいて、確実に家庭に人がいらっしゃるときに設置をして、またそういうものも配慮をしながら、村民の皆さんに不快な気持ちを与えないような設置工事を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

休憩します。

(休憩時刻11時00分)

再開します。

(再開時刻11時15分)

2款総務費。11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀 里 敏 郎 委員

5ページ、細節120. ストレスチェック委託料について、教えてください。昨年度から始まっているようですがけれども、大変興味のある事業じゃないかと思ひます。それで昨年度の委託料については、いかほどの予算計上されたか。計上じゃなくて使われたかですね。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

総務課長 宮城弘和君。

○ 総務課長 宮 城 弘 和 君

これにつきましても、業者と委託をしまして、ほぼ予算の全額を執行する予定でございます。令和2年度につきましても、委託業者と委託をいたしまして、予算のほぼ全額の委託ということになります。

ストレスチェックの委託金につきましては、委託料は49万円程度ということになります。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀 里 敏 郎 委員

わかりました。このコロナ禍で、昨年は49万円ということで、大変いい予算の執行じゃないかと思えます。最近、テレビなんかをよく見ますと、国民もそして各県においても、そして職場においても、コロナ禍によるストレスのためにいろいろと悲惨な事故も起きているようですけど、そこで昨年度のこの49万円の予算執行について、実績といたしまして、具体的にどういうことをされたか。お伺いします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

総務課長 宮城弘和君。

○ 総務課長 宮 城 弘 和 君

この業務につきましては、全職員に対しましてストレスチェック、アンケート調査でございますが、全職員に対しまして、実施をいたしております。その結果を踏まえまして、また安全衛生委員会を設置してございますが、その中でその集団分析の業者から報告を受けたというようなことでございます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀 里 敏 郎 委員

わかりました。結局このストレスチェックという委託した業者から答申されて、そして役場としてはこういう検討委員会みたいのがあるわけですか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

総務課長 宮城弘和君。

○ 総務課長 宮 城 弘 和 君

この業者につきましても、中部地区の医師会の健診センターのほうに委託をしてございまして、このアンケート調査に基づきまして、各個人のこのストレス度というのは通知をいたします。村全体としては個人の情報というのは、知り得るすべがないんですが、各個人個人に今のストレス状況が通知をされているところでございまして、このストレスチェックの高ストレス、ストレスが抱えているというところでございますが、それにつきましても厚生労働省の基準に選定した場合に、ほかの事業者、全国平均ですが10%ぐらいが高ストレス者ということらしいですが、本村の令和2年度の結果といたしましては、5%以下だったというようなことで報告は受けております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀 里 敏 郎 委員

ぜひこの当分の間、職員も我々議会もこうして住民もストレスというのが溜まっていく傾向が強いのと思いますので、ぜひ継続して、きちんとしてストレスのチェックをしていただきたいと思います。そして予算については、49万円にこだわらず、もっと使ってもよろしいんじゃないですか。以上、提言して私の質疑を終わります。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

6番 山城善彦委員。

○ 6番 山 城 善 彦 委員

歳出8ページの会計管理費の12節委託料について、お伺いいたします。これ説明あったと思いますが、再

度説明をお願いいたします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

会計管理者 東江民雄君。

○ 会計管理者 東 江 民 雄 君

歳出8ページの委託料につきましては、今年度令和3年度から計上した款でございます。これは今までは指定管理をしておりますJAから、近年のマイナス金利政策により、JAの経営環境も厳しいということがございまして、数年ほど前から指定金融機関としての委託料、それと事務手数料の見直しを求められてきた経緯がございます。その中で今回、事務手数料はこれまで100万円ほどお支払してきてございましたが、それを包含しまして330万円の新年度の予算を計上しています。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島 袋 義 範 委員

先ほど歳入のほうでパークゴルフ場の利用料がゼロになっていると、費目存置になっているということでお伺いしましたけれども、指定管理の件だろうというふうに話をしましたけれども、今ですね。歳出9ページ、企画費の中でも給料として249万4,000円が計上されているんです。何か整合性がとれないような感じがするんですが、何で給料はこっちが持つのかという感じなんだけれども、先ほど何か地域おこし協力隊とか話もちよっと聞きましたけれども、あと一度説明をお願いします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

政策調整室長 内間常喜君。

○ 政策調整室長 内 間 常 喜 君

私の説明のほうが不十分でございました。おわびしたいと思います。おっしゃるとおり、歳入のほうでは費目存置にしてございます。これにつきまして、委員からも御説明がありましてとお指定管理をするということで、これは指定管理を受ける側が収入を、いわゆる繰り入れを受け取ることができる、また条例等でも規定してございますので、そのようにしてまいりたいと考えております。

今の9ページの給料の部分についてでございますが、歳出の説明でも概略は説明申し上げましたけれども、地域おこし協力隊、天気とかコロナとかいろんなものも要因としてあるのかと思いますけれども、なかなかプレーする方が伸び悩んでいるというか、そういった部分もございます。直営をしておりましてけれども、4月からはパークゴルフ場が管理するというので、さらに相乗効果としてゴルフ場と一帯となって、売り上げを伸ばしていただければと願うものなんですけれども、そういった中でどちらにしましても、この人材不足という部分は否めなくて、その中で地域おこし協力隊を募集しまして、その方にイベントの企画とか、村外へのPRとか、そういったことを手掛ける人材を確保できないだろうかということで計上させていただいているところです。その方の今、人件費として給料と職員手当等に今、予算配置をさせていただいているところです。ただ4月頭から採用というのは厳しいというふうな今、感覚を持っております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島 袋 義 範 委員

ついでに第1回目のパークゴルフ村民大会が実施されたわけですがけれども、初日から日曜日、2日目に大雨になってしまって、参加できなかったんですけれども、この1週間で果たして何人ぐらい参加したのか、ちょっと興味がありますので、実績がわかりましたら、教えていただきたいと思っております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

政策調整室長 内間常喜君。

○ 政策調整室長 内 間 常 喜 君

当初、この第1回伊江村パークゴルフ大会につきましては、2月ごろからできたと考えておりましたけれども、コロナのこの緊急事態宣言が延長になったり、なかなか日取りが延び延びになってございます。3月6日から14日までということで開催をいたしました。その参加者の合計が8日間で305人となっております。先ほど委員からもございましたとおり、第1週目の3月6日、7日が雨でございまして、なかなか参加者が伸び悩んだ状況がございます。その後の平日については晴天で、そして13日、14日の土日は晴れまして、13日の土曜日が92人、14日昨日が66人ということで、土日は結構にぎわったんだなというふうに考えております。いろんなこの大会や誘致も必要かなと認識をしているところでございます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島 袋 義 範 委員

村長の施政方針の2ページにあります国の新型コロナウイルス感染症対策、いろいろな交付金とかいろいろと事業やって3次にわたり約8億円規模の感染症対策、金を使ったというふうに使われていますけれども、これは総事業費だと思いますけれども、果たして例えば国からもたくさんの助成があったと思いますけれども、村単費として一般財源としてどれぐらい使ったのか。概略でいいですから、教えていただけませんか。8億円のうち、幾らぐらい村費が支出されたのか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

政策調整室長 内間常喜君。

○ 政策調整室長 内 間 常 喜 君

今、大まかに申し上げることしかできませんけれども、例えば総務課で管轄しておりました定額給付金、これにつきましては4億円余りございました。新型コロナ対応地方創生臨時交付金、これにつきましては3億円余り入ってきてございます。これは政策だけが把握するのは難しく、財政担当と調整をし、調査したところ、村単独事業で持ち出したのが約1億円余りと今、算定しているところでございます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

2款総務費。ほかに質疑ございませんか。10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

10ページと11ページにわたって、真謝区・西崎区の住環境負担軽減事業について伺います。10ページには、12節委託料がありますが、次の11ページには、負担金補助金及び交付金、細節659. 3,500万円ということになっています。歳入では5,000万円の繰入れをしていますから、これ差し引くと委託料が1,500万円かなと思いますが、どうしてこの委託料というものは、どういうものなのか。補助金というものはどういうものなのか。分け方がよくわからないんですが、説明をお願いします。

それから前の9ページに、真謝区・西崎区住環境負担軽減事業に基金1億2,000万円が積立てられています。この基金はこれだけなのか。あったものは全部使ったのかということも伺います。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

政策調整室長 内間常喜君。

○ 政策調整室長 内 間 常 喜 君

まず12節委託料につきましては、これにつきましては今お住いの住宅のこの間取りとか、サッシの寸法とかいろいろございます。その改修についての設計、そして実際に工事に入るときの適正なサッシとかクーラーとか、そういったものが適正に設置されているかという部分を管理する管理費が含まれております。

そして負担金補助金及び交付金659. につきましては、これは実際工事という形で形式は入るんですけど、以前の議会でも申しあげましたけれども、個人資産の形成にあたるということで、村の予算配置の工事費にはなじまないのではないかとということで、この実施主体は個人になります、それを村が代理して、工事等もかわりながら、この御本人に補助金として支給するという形式をとりますので、負担金補助金ということになってございます。

また、9ページの積立金、これにつきましては、本予算が成立したのちの事業執行にあてるための基金積立金というふうになってございます。

今、残高というのは、はっきりは今、申しあげることではできません。この積立をし、それを取り崩して執行してまいりますけれども、確か当初3,500万円、3,500万円、そして令和2年度が5,000万円、その後5,000万円、5,000万円という感じで積み立てをしてきたというふうに記憶をしておりますが、その今の残高というのは、把握しておりませんので、後ほど申しあげたいと思います。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

この真謝区・西崎区住環境負担軽減ということからいえば、これはわかりやすくいえば防音工事なんです、去る3月8日、9日、10日、F35Bが訓練をしました。10日は合格祝いの日でありまして、私西崎区に行ったんですが、あるお母さんが「みんなでこの音を聞いてください」というふうなことを言っておられました。私はこの防音工事はオスプレイの低周波対策としては、あまり有効ではないと。しかしジェット機の爆音に対しては有効だと考えています。これはちょびちょびやるのではなくて、何年もかけて工事を推進すると、苦しんでいる人は亡くなる人も出てきます。それで一気にできないかということがひとつ。

それからもう一つ、西崎・真謝のある団体から、隣接区の補償金を出してくれという陳情も村議会に出されているんですが、その陳情書の内容については、賛成できない部分もありますけれども、何とか爆音で苦しんでいる住民に対して、助けることはできないかということは感じています。村長、その辺のところはどういうふうに思っていますか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

政策調整室長 内間常喜君。

○ 政策調整室長 内 間 常 喜 君

先に私のほうから申しあげたいと思います。これまで積立金を村長の政治判断と申しますか、とにかくなるべく急いでやるんだということで、こちらにも指示がございまして、積み増しをしてきた経緯がございまして。それで令和3年度の積立金も1億2,000万円と増額をさせていただいております。委員がおっしゃるとおり、早めにしたというのは村長も同じ気持ちだと私は認識しておりますけれども、なかなか基金積み増し、今のこのコロナの状況もございまして、様々な分野、視点で一般財源を活用していく中で、一度にそれはなかなか難しいところがあるのかなと思っておりますが、加速度的に積立したものをまたさらに発注といいますか。事業執行、早めにしたが具現化できればそれにこしたことはないと思います。その辺で事務方としては、なるべく急いだ形でやっていければと思いますが、これはどうしても財政とのやりとり、調整が必要かと思っておりますので、令和3年度の予算について、御理解いただければと思います。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

もっと予算を確保して一気に要望する皆さんの声に応えることはできないかということでございますから、

財政的その辺は政策調整室長が答弁したとおりであります。まずはどのぐらいの方がどの期間において、そういう対応ができるかというのが1点あります。事業主体は村ではなくて、村が公共事業みたいに一気にやるとかということではなくて、やはり各個人の皆さんが、各個人のいろんな中でこの事業を導入して、防音してみたいと。に取り組みたいというような各々のお家の考え方もありますから、その辺は真謝区・西崎区の推進委員ですか。そこと政策調整室がやっていますから、その辺の聞き取りをさせてみたいと思っています。どのぐらいの方が、例えば今年、来年、3年のうちにぜひやりたいと、やってほしいという部分があるのを、こちらは予算の都合で若干、待たしているのか。逆にそういう防音を必要としているんだけど、2年、3年後にやりたいという方も、私はいるのではないかと考えていますから、その辺の状況をまずは西崎区・真謝区の推進委員と担当課で調整をさせてみたいと思います。それを受けてこの委員が要望している、もっと早くできないかということは、今後の検討をさせていただきたいと考えております。

それと基地に関わる、この前F35Bの訓練があるということで、私も現地に行きましたが、3機来てただ1機あと飛び立つのしか私はこのときにしか行ってないんですけど、さすがにこのオスプレイと比べてF35の爆音というのは、やはり心にぼんぼんくるようなそういう衝撃音がありますので、そういう部分については、今後もしっかりと私たち村としてもその辺の対策はしますが、やはり国としてF35の訓練については、騒音対策あるいはその他の村民の生活に支障があるような事柄については、しっかりと機会あるごとに抗議要請をしていきたいと思っています。

○ 委員長 内間 広 樹 君

政策調整室長 内間常喜君。

○ 政策調整室長 内間 常 喜 君

すみません。先ほどの基金の残高等につきましての私の答弁で訂正をさせていただきたいと思います。まず平成30年度にこの基金条例が交付設置されました。30年度末に積立金を3,500万円計上しまして、平成31年つまり令和元年度に5,000万円、令和2年度に8,000万円、そして令和3年度に1億2,000万円ということで今、積立金の推移としてはそうなっております。そして令和2年度のこの補正、8号だったでしょうか。この議決をいただきました補正予算でまた予算、議決いただいた部分も含めてですが、それを執行した場合、追加した分を発注した残りの基金の残高の予定が2,000万円余りと今、想定をしております。

○ 委員長 内間 広 樹 君

2款総務費、ほかに質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。3款民生費。22ページから33ページ。9番 内田竹保委員。

○ 9番 内 田 竹 保 委員

25ページ、委託料の戦跡等周辺環境整備事業に関してですけれども、当初予算要求説明資料の中でも見学とか書かれておまして、令和2年度に村内に点在している戦跡の把握、保存や活用方法を検討してまいりましたということで、その検討した資料をもとに実施設計、環境の整備、看板の設置、駐車場の用地買収を行いますということで、役務費から用地購入費まで1,460万円の計上であります。それは場所的にはどこなのか。何か所なのか、その辺をお伺いします。

○ 委員長 内間 広 樹 君

福祉課長 新城米広君。

○ 福祉課長 新 城 米 広 君

戦跡の基本設計を令和2年度は実施しております。検討委員会の中でいろいろともみまして、その整備をする箇所等も検討してきているわけですが、実際この検討委員会は3回やる予定だったんですけども、新型コロナの影響で、3回目が2月にやる予定が今できていない状況でございます。そして3回目は、

来る3月26日を予定しておりますが、第2回までの中で、ある程度もんで、場所の特定といえますか。候補地というのは検討してございます。まず整備箇所としまして、この周辺の駐車場等、この面的な整備として考えているのはまず東江前のアシャギの前のガマを一つ、そして次に候補地が5か所ぐらいあるので、2番目に唐小堀の溜池の南側のヤマグシの塚、そして米軍が最初に上陸したと言われております西崎の農協畜産センターの近くのほうにグリーンビーチ、このグリーンビーチというのは、米軍のほうで記録に残っている名前になっております。便宜上そのまま使いたいと思います。近くのグリーンビーチ、そしてニャティヤガマの東側にまたレッドビーチということで、実際3か所米軍は上陸するときに来ているんですけども、その最初に上がったところに駐車場等をやってはどうかというものが挙がっております。

そしてもう一つ、ナラ収容所などもやったらどうかということで、この検討委員会の中では候補地は挙がっております。実際に計画の中では3か所程度の整備となっておりますので、第3回でそれを絞り込んでいくという形になろうかと思いますが、これ以外にまた解説板等とかも必要な箇所があるのではないかとということで、川平の川平塚のほうに説明板を置いたりとか、また城山展望台、そこのほうにもこの緑十字機のことを伊江村でも会が立ち上がっておりますので、そういったものの解説とかをやって、実際は展望台から見えはしないんですけども、大体ある程度、あの辺だよということがわかるので、そこに説明板とかを置いたらどうかというのがあがっております。

そしてそれはまたそこから景色が見えることから、AR技術とか、VR技術、そういったものを使って、その当時の何か写真とか、状況が見せられたらどうかというのが挙がっております。中身的にはそういうことでございます。

○ 委員長 内間 広 樹 君

2番 並里晴男委員。

○ 2番 並 里 晴 男 委員

2点ほどお伺いしたいと思います。歳出24ページの細節133. 要支援世帯補助金25万円についてと、先ほど内田委員がおっしゃった戦跡等の周辺についても、後ほどお伺いしたいと思います。委員長、休憩をお願いします。

○ 委員長 内間 広 樹 君

休憩します。

(休憩時刻11時46分)

再開します。

(再開時刻11時46分)

2番 並里晴男委員。

○ 2番 並 里 晴 男 委員

この要支援世帯補助金は、この前年度から実施されていたのか。いたのであれば、去年の実績はありますか。お伺いします。

○ 委員長 内間 広 樹 君

福祉課長 新城米広君。

○ 福祉課長 新 城 米 広 君

要支援の補助金ということで、これは当初にはございませんでした。令和2年度は、途中上がってこの対象者がクーラー等がやはり令和2年度はすごい暑い日が続きましたので、必要ではないかということで調査をしたところ上がってきまして、それで結果的には3件ほどの世帯に対して設置をしたということでございます。その実績を受けまして、今年度は5世帯を見込んで計上してございます。

○ 委員長 内間 広 樹 君

2番 並里晴男委員。

○ 2番 並 里 晴 男 委員

この要支援世帯補助金については、私も福祉事務所の補助金の観点で一般質問を行いましたので、そのときの福祉事務所からの補助金の交付要綱といいますか。そこについては何年度ということは忘れていますが、何年度以降が対象だというような条件があったものですから、合致しない方々もいるということで、大変あまり有利ではないなと思いながら、一般質問をしたんですが、このようにしてこの事業に補正をつけまして、今年度もされていることで、大変喜んでいるところです。ひとつ関係者のほうへさらに周知をしていただいて、またこの関係者の方々も去年はできなかったが、今年はやる可能性もあるので、早めに夏が来る前に、調査のほうも再度確認をしていただいて、事業を執行していただければと思います。

次に、先ほどの歳出25ページの細節201. 戦跡等周辺環境整備事業についてですが、先ほど場所につきまして、看板設置などを含めた場所がありましたが、ニーバンガズィマールのほうの説明板みたいなものは検討はされていませんか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

福祉課長 新城米広君。

○ 福祉課長 新 城 米 広 君

ニーバンガズィマールの説明板ということでございますが、実際そこには説明板があろうかと思えますが……。設置されてございます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

2番 並里晴男委員。

○ 2番 並 里 晴 男 委員

説明板があるのは一応、私も承知しているわけですが、前回は去年もこの説明板の内容につきまして、いろいろと写真とか、あるいは何かそういうのが見れるようなものも検討されているということ、課長の方が答弁されて、しかし村長のほうが「まだまだ、これ基本設計」、基本計画だからそこまでは至っていないというようなこともありましたので、先ほど看板設置のAR、何か撮影ということの説明されていましたが、そこら辺はまだまだ撮影、看板設置の内容については、説明できますか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

福祉課長 新城米広君。

○ 福祉課長 新 城 米 広 君

この戦跡の周辺環境整備事業ですけれども、令和2年度でこの基本設計でどの辺の場所がいいのではないかと。そして看板を設置したらどうかというのはございますが、その内容につきまして、令和3年度の実施設計の中で検討委員会でもたもめながら、その辺は決定していくということになっておりますので、よろしく願いいたします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

2番 並里晴男委員。

○ 2番 並 里 晴 男 委員

一応、看板内容につきまして、担当のほうの考え方というのをどういうふうにやりたいというようなことは、今の段階では答弁できないですか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

福祉課長 新城米広君。

○ 福祉課長 新 城 米 広 君

まずこの基本設計をやるときの基本的な考え方としまして、まず戦跡にふさわしい環境づくりということ

で、過度な整備はしないと。この状況にマッチしたものをやっていくと。そしてまた平和学習を支援する空間づくりということで、この解説板とか、駐車場そういったものをやって、木陰とかつくって、そこをまた見れるような形なども考えてございます。これは基本設計の中でやったらどうかということでございます。

また、伊江島の地形、風土を踏まえた空間づくりということで、樹木とかその辺をしっかりと活用しましょう。そして安全に配慮した空間づくりとして、必要なところは少し段階的にやる必要があれば、そういったところも考えてはどうかということでもあります。立入禁止のところはまた設置板をつくったりとか、そういったことも考えましょうと。さらに戦没者への慰霊とともに、平和や未来の展望が想起できる空間づくりということで、これは平和学習とか、情操的な教育などにつなげられるようにということで基本的になってございますので、そういったものにも活用できるような説明板というのを考えていこうと思っております。

○ 委員長 内間 広 樹 君

2番 並里晴男委員。

○ 2番 並 里 晴 男 委員

あと1点、歳出29ページ、細節113. 子育て支援センターにつきまして、お伺いします。この事業は、立ち上げたのは、一応は県からの指導があったのかどうか。そして他市町村でも実施されているのか、伺います。

○ 委員長 内間 広 樹 君

福祉課長 新城米広君。

○ 福祉課長 新 城 米 広 君

子育て支援センターということで、本村でも4月1日から西保育所の中で開所していこうと考えてございますが、この子育て支援センター、この考え方自体は、平成24年の子ども・子育て支援法、法律ですね。そのこのほうで子ども・子育て支援法の中で、内閣府のほうがその中心となって、本部をつくりましてスタートしておりますが、その法律に基づいてこの子育て支援センターというのが、各地設けられていてございます。ですので、ほかの市町村でもございますが、伊江村もこの立ち上げにあたって保護者のほうにアンケートを取りまして、必要かどうかというのを確かめてございます。その中でやはり日頃の不安、子育てに対する不安とか、そういったのがかなり多いと。どこに相談していいかわからないということがアンケートの中でもたくさんありまして、支援センターみたいなものをつくってもらいたいという内容がございましたので、伊江村としましても、それに応える形で支援センターを設置してございます。

○ 委員長 内間 広 樹 君

休憩します。

(休憩時刻11時56分)

再開します。

(再開時刻11時57分)

休憩します。

(休憩時刻11時57分)

再開します。

(再開時刻13時30分)

当局より、答弁の訂正の申し出がありますので、これを認めます。政策調整室長 内間常喜君。

○ 政策調整室長 内 間 常 喜 君

2款のほうで、名嘉 實委員のほうから、真謝区・西崎区の住環境負担軽減事業の基金の残高について、質疑がございました。その中で私は、令和2年度の一般会計補正予算(第8号)、議決いただきました8号の予算を執行の前提で、基金の残高を「2,000万円余」と御説明いたしましたが、「5,500万円余」の残額を想定してございます。おわびして訂正いたします。

○ 委員長 内間 広 樹 君

福祉課長 新城米広君。

○ 福祉課長 新城米広君

午前中の質疑で並里晴男委員のほうから、3款1項1目の細節133. 要支援世帯補助金で、私の答弁では、令和2年度から、補正で予算化をしまして、「3件」ほどということで答弁をしましたが、元年度から予算化をしております、令和2年度は9月の補正で3件分追加をして、実績は「6件」ございましたので、訂正しておわびいたします。

○ 委員長 内間広樹君

3款民生費。

休憩します。

(休憩時刻13時30分)

再開します。

(再開時刻13時31分)

3款民生費。6番 山城善彦委員。

○ 6番 山城善彦委員

歳出23ページ、18節、細節101. 村社会福祉協議会運営補助金についてお伺いいたします。説明あったと思いますが300万円から次年度1,500万円という大幅な増であります、一つお伺いいたします。

○ 委員長 内間広樹君

福祉課長 新城米広君。

○ 福祉課長 新城米広君

福祉センターの補助金についてということですが、福祉センターのほうでは事業を8つほど、事業を行っております。これは委託事業でございます。この委託事業の中に、地域福祉事業と介護保険事業というのがございまして、それぞれ委託をしているところでございますが、その委託事業の中で平成26年度のときに契約した内容が、そのままこれまで持ち越しされておまして、こちらの共同作業所を例に挙げますと、当初は若干、何万円かの黒字ということもございましたが、令和2年度でいいますと200万円以上マイナスが出ております。まず委託事業の再度見直しをしたところでございます。そういうことで見直しをしました約1,000万円ほど改善されるかと思っております。そうしますと、実際補助金でマイナスが出ているのが、当該年度3,000万円ほどマイナスが出ているということで、その残り2,000万円ということになるかと思っておりますが、そのほうもこの基金から繰り入れてやっているところでございますが、そのうち1,500万円程度は、その社協のほうでも自助努力をしまして、何とか改善に持っていきたい。残りの部分をまた村のほうにお願いできないかということで今回、1,500万円ということで額を増額した経緯がございます。

○ 委員長 内間広樹君

6番 山城善彦委員。

○ 6番 山城善彦委員

ということは、これは令和3年度だけの補助ということですか。

○ 委員長 内間広樹君

福祉課長 新城米広君。

○ 福祉課長 新城米広君

この契約、そして中身について、精査をしまして、社協のほうとも協議をしまして、まずはその3,700万円程度の今、基金がございまして、それをそのままやると、今のままでいくと2年で全部食い尽くしてしまうということがございまして、それを何とかできないかという相談がありまして、今説明しましたとおりやりますと、基金から次年度200万円から100万円程度で収まるかと思っておりますが、そういったことで基金を長く充てることで対応していきたいと。これが完全に村の補助になりますと、自助努力というのがなくなりますので、その辺を基金でもって、これからはチャリティーとか続けていきますので、そういったことで何とか

しのいでいきたいということで、次年度以降また様子を見ながら、協議をしながらこの妥当性も考えながら進めていきたいと思っております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

6番 山城善彦委員。

○ 6番 山 城 善 彦 委員

数字的にいろいろと出ていますので、難しいんですが、結局はこれまで積立でしていたものが、積立から充当して、その残りがだんだん少なくなってきたということだと理解しますが、ということは今回そういうものを調整して、これまでは300万円ほどずっとやっていたわけですね。そういった感じで結局、安定的な補助に戻すという形なわけですか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

副村長 名城政英君。

○ 副村長 名 城 政 英 君

少し基金の話が出ましたので、実はこれまでゴルフ大会とか、あるいは様々なカラオケ大会とか、そういったところで基金をずっと社協は積み立ててきていて、1億7,000万円余りありました。しかし、法律が変わりまして、法律が変わったために、福祉協議会が基金を持つことができなくなったんです。県、社協、福祉協議会からの指導もあって、10年間の社会福祉充実計画というのを作成をしてください。そして10年間でそれを社会福祉に充当して行って、全部使い果たしてくださいということで、先ほど福祉課長から説明がありましたが、近年もゴルフ大会とかやっていますが、それは基金は積立でしていません。そのままその年度の足りないところに充当しています、今はもう既に。平成29年以降は。そういったことでやってきた中で、現在10年間の計画をしていた福祉充実計画、1億7,000万円あったものが、あと3,600万円、3,700万円ぐらいしか残っていませんよと。そのままいくと全て使い果たしてしまうので、あとは村から委託された事業もマイナスが出ていると。先ほど説明がありましたが、そうしていくと、ほとんど赤字になってしまうということもあって、今年度1,500万円にして、その他については、努力もしていこうということをやっているんですが、今後は上がってくるだろうと思います。今北部地区の平均が2,000万円超えています。しかし我々、伊江村はこれまでその基金があったために、増額しないでそのまま頑張って運営してもらってきたんですが、その福祉充実計画の基金も10年間全て使い果たさないといけないということになっていますので、それをやった時点ではまた少し上がってくるだろうと、それは想定はできますが、現在今年度は1,500万円ですよということで、要請もございまして、その要請のとおり今年度は予算化して、1,500万円を予算化をさせていただいたということですので、そういったことで少しはわかりましたかね。ということの今回の増額ということですので、絶対、これだけで収まるということではないのかなと。今後もういくら努力してもなかなか厳しいのではないかと考えていますが、北部地区もほとんど地区内、ほとんど1,000万円とか、小さい市町村になればなるほど、村の持ち出し分が多いです。そういったことでありますので、現在においてはまだ3,700万円残っていますので、そういったことを含めて、全ての面で社会福祉はあくまで、絶対我々は軽率的な考え方ではなくて、しっかりとやっていくために今後とも維持をしながら、そして連携をとっていくということにしていきたいと考えておりますので、今年度は増額要請に応えたということですから、御理解のほどをお願いいたします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

6番 山城善彦委員。

○ 6番 山 城 善 彦 委員

副村長の説明で大分わかりました。法改正で基金が積み立てできないということで、全部充当してきて、

残りが3,700万円しかない。ただこれも全部10年間の間で使わないといけないということだと思いますが、その中でいろいろと今回の補填が1,500万円だということで、今後それがまたさらに3,700万円を使えば、伸びる可能性があるということで理解していいわけですね。わかりました。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

休憩します。

(休憩時刻13時41分)

再開します。

(再開時刻13時44分)

11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀 里 敏 郎 委員

歳出27ページの説明の269. 介護予防事業について、質疑をいたします。この介護予防事業の詳しいことを説明していただけますか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

住民課長 平敷兼清君。

○ 住民課長 平 敷 兼 清 君

介護予防事業、様々な委託事業がございます。まず大まかに申し上げますと、まず老人クラブ連合会と連携しまして、認知症予防講座ですとか、あとミニデイ、社協が開催していますけれども、ミニデイの中での高齢者の歯周病の予防、口腔衛生の講座ですとか、高血圧、脳卒中とかの予防講座というのを外部からの先生ですとか、歯科医師を招いての予防講座をやっております。それと併せまして主に12節のほうに主に大きな事業があるんですけども、まず委託事業の中で1点目は、この社協がやっているミニデイです。それと心配ごと相談、生活圏域ニーズ訪問調査といいまして、介護保険のほうから何名か高齢者の方々、もしくは独居老人ですとか、そういった方々を介護保険のほうで抽出した約大体80人から100人ぐらい毎年、抽出するんですけども、その方々に対しての訪問調査とか、介護予防のニーズがないとか、相談業務とか、そういったものを委託するものです。これは「いえしま」のほうにやっています。それと通所サービス「プロテク」のほうで、介護予防の中の委託の中に入っております。プロテクのほうも、元年度の5月から始めておりまして、元年度の決算で約延べの人数ですけども、約260人の延べ人数の実績がございます。2年度に入りまして、4月すぐスタートですので、先だつての補正でも増額の計上をさせていただいたんですけども、既に2月の時点で397人の実績がございます。利用の延べ人数自体は増えている状況でございます。

それと令和3年から、新たに通所サービスAと、新たに訪問サービスCというのを予定しています。これも予定先としてはプロテクのほうに想定してまして、村の包括の保健師と一緒に3か月から6か月の短期間で、短期集中型の訪問、プロテクの通う通所のほうですけども、逆に訪問をして運動機能の改善とか、そういったものを保健師と一緒に取り組んでいくという事業を3年度から予定しています。これも12人を担当と、プロテクと調整しながらやっています。12人ほど見込んでいて、費用的にこちらから委託するのは大体、約130万円ほどを想定して、令和3年度は実施に向けていきたいと思っております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀 里 敏 郎 委員

私が本当に聞きたかったのは、今度新しくつくられたC型訪問型の導入について、聞きたかったんです。ということで、先ほど説明がありましたけれども、これは訪問型というのは、具体的にどういうことをするんですか。委託金で130万円ぐらいなんです。これ12人の方で訪問をして、実情を調べるということなんですか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

住民課長 平敷兼清君。

○ 住民課長 平 敷 兼 清 君

実際、まだ始まっていない、私もイメージ的にはわからないところもあるんですけども、実際、運動機能の向上ですので、介助手助けをしながら運動の介助をしたり、また腰痛対策、ひざ痛の対策とかもありますので、それを兼ねたマッサージといえますか、整体も兼ねたもの。それと併せてこれは12人見込んでいますけれども、その中にいらっしゃるかどうか、また話は別ですが、閉じこもり予防とか、うつ予防とかというものも兼ねて保健師と一緒に訪問することで、そういったことを改善していこうというような事業になっています。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀 里 敏 郎 委 員

私も後期高齢で大変、気になる事業ですので、説明を受けたらすごいいい事業になりそうなものですから、この12人をピックアップするときには、どういう方法でされたんですか。そして住民から「ワッター、ヤーニハ、こういう人がいるけどいかがでしょう」とか、どういうことでこの12人の方が今、抽出されたのか。一つ疑問があります。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

住民課長 平敷兼清君。

○ 住民課長 平 敷 兼 清 君

このサービスCを開始するにあたって、プロテックと担当の間で調整というか、事務の相談があったり、その中でプロテックのほうで実際やられている中で、そういう情報があったり、この方来なくなったりとか、もしかすると通っていないだけで、在宅のほうにいるんじゃないとか、そういった情報といえますか。つかんでいる方が大体12人いまして、実際にプロテックがつかんでいなければどうなるかという話にはなるはずなんですけれども、もちろん地域の方々からの情報だったり、また身内からの相談があれば、基本的に最初の窓口は役場になりますので、包括支援センター、その中で相談を受けて、面談をして、御本人の聞き取りですとか、身内からの聞き取りですとか、またそういった症状の確認だったりとか、確認をした上で、この場合は、訪問サービスのほうにCのほうにつなげたほうがいいのか。もしくは、そのまま通所のほうで続けたほうがいいのかという、面談も兼ねてからケアプランもつくってスタートするという形になります。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀 里 敏 郎 委 員

要望だけして、質疑を終わりたいんですけども、ぜひそのプロジェクトの皆さんと委託契約を結ぶときには、ぜひ地域住民の声も大いに反映させていただいて、この計画を立てていただくように要望をして、私質疑を終わります。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

3款民生費、ほかにございませんか。3番 虻江 修委員。

○ 3番 虻 江 修 委 員

今のこの関連といえますか。話の中で出てきたんですけど、地域包括支援センター、これの位置づけといえますか。それがどうなっているのか。結局は今の人員で対応できるのか。正直な話、ここに来てから2人辞めていますよね。1人は長くいたんですけど、去年4月に入って、12月に辞めているんじゃないですか。それは仕事の量が多かったのかどうか、それはわからないですけど、ただ何かそれなりの理由があったと思

うんです。だからその包括支援センターというのは、いわゆる今65歳以上、自分も含めて、村内の中で33.5%はいるわけですから、3人に1人がそういう世代に入っている状況ですから、そういったシステムを有効活用して、人員配置なり何なりきちんとやって対応できる体制をつくらないとだめなんだけど、去年の例を見ている限りだと、正直言ってなっていないとしか言いようがないんです。その辺村としてはどのように考えますか。

○ 委員長 内間 広 樹 君

住民課長 平敷兼清君。

○ 住民課長 平 敷 兼 清 君

人員の話ですけれども、今年度4月から社会福祉士が新採用ということで、住民課の包括支援センターのほうに配置になりましたが、12月でこの度退職いたしました。本人からは、行政関係が初めて入るところもありまして、なかなか行政、事務のほうに慣れていないというような若干、ストレスもあり、また本人の希望としてはできればフィールドワークといえますか。外回りをやっていきたいというような状況もありまして、当初の入ってきたイメージと、実際に現場に入ってみてのイメージがちょっと違い過ぎたのかなということもあって、今回退職ということになりました。包括の人員としては、政令で基準がございまして、専門職、社会福祉士、保健師、ケアマネのこの3職種のうち1人は専門職を配置すると。この離島地域においては、もう1人兼業で保健師、いわゆる3職種のうち1人を兼業で置けば、基準的には達成するという状況でございますので、12月で退職されて、このたび1月1日で新たな保健師を採用することになりました。これからの体制の話になるんですけれども、3年度予算の中で、お一人、保健師を今確保しております。その中で包括のほうと、この方も保健師を持たれている方なんですけれども、包括のほうと国保の方、保健事業も一緒に見ながら、住民課に配置をして、包括支援センター実施という組織の体制の強化を、3年度は図っていきたいという状況であります。

○ 委員長 内間 広 樹 君

3番 虻江 修委員。

○ 3番 虻 江 修 委員

ということは、今現在この前の辞めた方、上野さんの後に、医療のほうから一人、こっちに今回来ていますよね。その方が保健師ですよ。それプラス、社会福祉士の方が1人入る。保健師が2人になるということ。ケアマネジャーの方とか、一応社協に行って、話をしたことがあるんですけれども、今連携はどうなっているんですか。

これから先、65歳以上の人間がどんどん増えていく中で、その機能を果たせるように、きちんと人的なものとか、そういったものは整えていかないと、だめなんじゃないですかという話をしていたんです。そのところに職員辞めるようですよという話を聞いたので、「どうなっているの」というのが正直なところなんです。その後に辞めた後に今、代わりの方が医療保健課から回って今は席は埋めていますけど、今の配置プラス1の形にはなって、なおかつ社協のケアマネジャーとか、そういった方と連携をとりながら、事業運営に損はないというか。確実に執行できる体制は、令和3年度からとれるということですか。

○ 委員長 内間 広 樹 君

住民課長 平敷兼清君。

○ 住民課長 平 敷 兼 清 君

委員おっしゃるように、令和3年度から新たに住民課に保健師を配置して、包括支援センターとして実質2人の配置ということで、体制を整えていきたいと思っています。もちろん今まで社協、ほかの介護サービス事業所とも、これ体制を整えて連携を強化していきたいと考えております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

ほかに質疑ございませんか。8番 島袋義範委員。

○ 8番 島 袋 義 範 委員

説明あったかと思うんですが、聞き漏らしておりますので。32ページの負担金の細節654. 地域型保育事業について、説明をお願いします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

福祉課長 新城米広君。

○ 福祉課長 新 城 米 広 君

地域型保育事業の負担金のほうですが、これは内閣府からの指定公定価格試算表にて算出をいたしまして、小規模保育施設への負担金を計上しているところでございます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

進行します。4款衛生費。34ページから43ページ。8番 島袋義範委員。

○ 8番 島 袋 義 範 委員

38ページの19節扶助費104. 不妊治療費助成200万円、以前に私、村内の不妊治療に助成を出すべきじゃないかという一般質問もさせていただきましたけれども、この200万円というのは、現在何人の方がこのそういう治療を受けておられるのか、お伺いします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

医療保健課長 山城直也君。

○ 医療保健課長 山 城 直 也 君

不妊治療費助成実績ということで、令和元年度は24件ありました。令和2年度は一般が4件、特定が5件の9件でございます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島 袋 義 範 委員

これは県内だけで治療を受けられているのか。あるいは本土まで行かれている方もいらっしゃるのどうか。その辺を伺います。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

医療保健課長 山城直也君。

○ 医療保健課長 山 城 直 也 君

治療を受けられている方は、県内だと聞いています。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

歳出41ページ、12節委託料、細節108. 廃家電リサイクル収集運搬委託料について伺います。それとの関係で質疑をいたします。村長の施政方針14ページには、廃棄物について、スサカ処分場、産業廃棄物最終処分場の延命化を図りつつ、将来に向けた産業廃棄物処理場の確保に向けて取り組みます。と、今後のことを書かれているんですが、写真見せたいんですが、湧出の旧最終処分場に相当積まれたE&Cセンターから持ち込まれた廃棄物があります。これが日付はありませんが、2つ見比べてはつきりするんですが、これがきれいにユンボで敷きならされて埋め立てされています。これについて、どうしてそういうことを行ったのかについて、説明をしてください。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

建設課長 知念利次君。

○ 建設課長 知 念 利 次 君

名嘉委員の写真、湧出处分場ですね。粗大ごみE&Cセンター、粗大ごみを分けて置いているんですけども、粗大ごみに関しましては、従来は仕分けをして、重機使用料で事業者のほうへ依頼をして、仕分けをして処理しています。金属類、スクラップとかは、業者が引き取りに来て、本島へ持ち出ししているんですけど、その他の粗大ごみに関しては、もえるごみは破碎して、E&Cセンターで処分をします。その他のごみも先ほど言ったとおり分別して、スクラップはスクラップ、粗大ごみは粗大ごみということで処分していますけれども、残った粗大ごみに関しては、湧出处分場のほうへ運搬して処理しています。この写真と同じように、私も現場で一回見たんですけど、その時に所長に話を聞くと、そのときに関しては、ごみの量が相当多くて、いつも依頼している業者も忙しくて、対応できなかったということで、この1回だけ分別しないで、湧出のほうに持っていったということで、後で報告を聞いて、これはまずいのではないかと。今後、ちゃんとスクラップはスクラップと分けて、業者のほうへ依頼をして、持ち出しするように強く言っておりますので、名嘉委員のおっしゃる施政方針にもありますごみ処分場の延命化に向けて、もう一度内部でしっかり対応できるようにやっていきたいと思えます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

1回分という話でしたが、あの写真は1回分ではありません。フレコンバックに入ったものもありますし、それ以外にもたくさんあります。資料持ってきてみましょうか。歩きたくないんだけど……。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

建設課長 知念利次君。

○ 建設課長 知 念 利 次 君

私、1回分と言ったんですけど、大体年に2回ほど、業者に依頼をして分別して、先ほど言ったスクラップはスクラップ、粗大ごみは粗大ごみということで分けて運搬している、年に2回と話を聞いたんです。1回はちゃんと仕分けして持っていったということで、これ多分2回目の運搬の、あれわかりますよ。多分これは以前、ちゃんとより分けした中での粗大ごみだと思うんです。手前のほうが多分今回、より分け分別しないで持っていった粗大ごみだと私は認識しております。そういうことで、私が1回と言ったのは、確かに量は多いんですけど、その1回分だったということで認識しております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

14ページの施政方針の件についての御質疑ですから、私から答えたいと思えます。この文言については、私を書いてありますので、スサカ処分場、産業廃棄物、そして最終処分場、要するに3つ延命化を図りつつ、そろそろスサカ処分場とか、あと何年もつかわからないとなっていますから、その辺の部分のこの代替施設で確保について、今後取り組みますという内容で、この文章は書いたつもりでありますので、そういうことで理解をしていただきたいと思っております。その中で最終処分場である粗大ごみの件については、建設課長からあったとおり、しっかりこれを担っているE&Cセンターと調整をさせて、今後そういう事態に陥らないように、しっかりやっていきたいと思っております。施政方針の文章については、その辺の観点からここに記載をしているということで、将来における今の産業廃棄物、後継地といえますか、代替地についても、

そろそろ今までこの辺もやってきましたが、今は中断しておりますから、そこら辺の部分も含めまして、サカ処分場とか、ほかの産業廃棄物処理施設、そして最終処分場、この辺を含めた延命化を図りつつ、さらなる代替施設についての確保についても、今後しっかり取り組んでいきたいということで御理解をいただきたいと思います。

○ 委員長 内間 広樹 君

11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀里 敏郎 委員

43ページ、説明の111. 資源ごみ分別作業等委託料について、伺います。分別作業委託料ですね、今年はいくらかわかりませんが、去年はいくらで委託料されたかですね。そして分別作業に係る作業人というか、その人数は幾らか。

○ 委員長 内間 広樹 君

建設課長 知念利次君。

○ 建設課長 知念 利次 君

この資源ごみ分別作業等委託料に関しましてなんですけど、これはE&Cセンターでの資源ごみの分別作業を実施させています。これは昨年度は人数が作業員2人分の作業員として12か月、約180万円の年間です。

○ 委員長 内間 広樹 君

11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀里 敏郎 委員

当初予算要求説明資料で年度別稼働状況というのがありますよね。そこに資源ごみ排出量というのがありますけど、令和何年度までしかないんですけども、最初令和2年度にあるんですけども、そのトータルがアルミが5,270キロ、そしてスチールが5,870キロ、ペットボトルが1万2,060キロですか、そして紙類が1,740キロということで、トータルで4万240キロということで、これだけの資源ごみを2人の方が処理したということは、私は称賛に値します。そしてこの作業員を見てみますと、私は78歳になりますけれども、私よりも体力的に落ちている方ではないかと思われる方が作業をしております。たまたま見ましたら激励もしますが、そういう方が2人で、これだけの物量を処理して2人で年間180万円の委託料、これは確かに入札か何かであるはずなんですけど、見積合わせでこれもう少し配慮をする必要はないでしょうか。私がお実感としてそう感じますけれども、いかがでしょうか。

○ 委員長 内間 広樹 君

建設課長 知念利次君。

○ 建設課長 知念 利次 君

私の説明不足で、先ほどの作業員2人というのは、特定非営利活動法人きずなのほうの作業員2人で、あと1人はこの作業員を管理する方を含め3人、あとまた別にまたE&Cセンターの職員もいらっしゃいますよね。私が言ったこの180万円というのは、きずなの方に委託をしている委託料でございます、E&Cセンターの職員の方の費用はまた別に年間210万円余り、合計390万円の予算で、4人で作業をしております。すみませんでした。

○ 委員長 内間 広樹 君

休憩します。

(休憩時刻14時19分)

再開します。

(再開時刻14時21分)

11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀里 敏郎 委員

休憩中に調整しました結果、ぜひこの弱い皆さんに対する対価といたしますか。それは十分に考えていただくことを切にお願いして、質疑を終わります。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

休憩します。

(休憩時刻14時22分)

再開します。

(再開時刻14時45分)

4款衛生費。5番 島袋 勉委員。

○ 5番 島 袋 勉 委員

歳出35ページ、細節605。これ2目の予防費ですけど、これ区分が大分またがりますので、細節605。新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業、総事業費、事業費ベースを教えてくださいと思います。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

医療保健課長 山城直也君。

○ 医療保健課長 山 城 直 也 君

細節605。ワクチン接種体制確保事業ですが、会計年度任用職員の配置のための人件費、報償費、消耗品の需用費、役務費、旅費、委託料また備品購入費、相殺しますと2,237万9,000円でございます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

9番 内田竹保委員。

○ 9番 内 田 竹 保 委員

37ページの母子保健事業費の中の201。38ページのこれは委託料の中に妊婦・出産包括支援事業ということで、説明でオンラインによる相談を行うという説明がありましたけれども、これは例えば妊婦が自宅にいて、その担当の方とオンラインによって相談することが可能なかどうか。そういうことでしょうか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

医療保健課長 山城直也君。

○ 医療保健課長 山 城 直 也 君

38ページの細節201。になります。説明は小児科・産婦人科の医師を全国、このアプリを利用すると全国の医者が登録されているお医者さんがいます。その中でその本人からこのお医者さんを選べる。このお医者さんに聞きたいということで選べる情報で、例えば夜間とか、夜とか発疹ができました。子どもに発疹ができました。この写真を撮って、こういった症状です。「どうしたらいいですか」と相談を受けて、翌日かかりつけの小児科とか、産婦人科とかに行ったらいいのか。それとも今、即診療所に行って相談を受けたほうがいいのかとか、そういった感じのシステムでございます。それによって、翌日行っても大丈夫ですよという答えとかあった場合に、診療所の職員の負担軽減にもなるのかというのがありまして、そういったアプリを利用しての審査でございます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

9番 内田竹保委員。

○ 9番 内 田 竹 保 委員

わかりました。妊婦の中には、そういったアプリを取得していない方も、中にはいるのではないのかなど。そのシステムが知らないのではないのかなどということがありますので、ぜひ周知をしていただいて、自宅にいてそういった相談ができるということであるならば、妊婦も大分楽になるはずですから、その辺をひとつ周知徹底をしていただきたいと思います。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

医療保健課長 山城直也君。

○ 医療保健課長 山城直也君

このアプリは、令和2年度に一応、試しということで、試し期間というのがありまして、そういったのを利用して、現在この妊婦のメンバーはLINE登録ということで、全員登録してもらっていますので、もしアプリとかない場合は周知して、登録するように呼びかけていきたいと思えます。

○ 委員長 内間広樹君

4款衛生費。ほかに質疑ございませんか。〔「進行」の声あり〕

進行します。6款農林水産業費。44ページから60ページ。2番 並里晴男委員。

○ 2番 並里晴男委員

歳出52ページの14節、工事請負費の中の細節657. 農業集落排水事業について伺います。令和3年度の予算につきましては、最終処分場の終末処理の実施設計費、そして管路工事費だということで説明を受けていますが、管路工事につきましては、当然家庭から受ける本管、さらにこれとまた別に西崎地区、遠いところからの圧送する管路みたいなことも計画があるんじゃないかと思いますが、今回の管路、計画されているのが、どういった本管であるのか。わかりましたら、お伺いします。

○ 委員長 内間広樹君

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西江 忍君

並里委員お説のとおり、まずは終末処理施設の実施設計業務と。まず実施設計業務をしないと施設、予定地は埋立地でございますので、これの地質調査、この辺が出てきます。それに基づいて建物のGLラインが決まってくるのかと思っておりますけれども、そのために今回の管路工事につきましては、逆に言うと終末処理施設が遠いところの幹線から、要は遠くなるということはこれだけ高低差があるということですので、そんなに大きく水勾配等を計算しなくても、自然流下で流れていく形になるので、遠い部分からの幹線から先に管路工事をしていきたいと考えております。

○ 委員長 内間広樹君

2番 並里晴男委員。

○ 2番 並里晴男委員

管路の設計、実施設計とかは、まだ詳しくはされていないのかと思いますが、言いたいのは、やはり早めにそういう計画したときに、ほかの工事との兼ね合いで、例えば水道工事とか、そういったことも連携を図って設計して、この工事がもう一度掘り起こしたりとかしないように検討をお願いしたいと思います。

参考資料の中の事業計画内容を見ますと、この事業につきましては、かなりの大きな事業規模であります。1期、2期工事というような観点で分けてあるような計画もあるのか。1期にそういった事業を推進していくのか。計画についてお伺いします。

○ 委員長 内間広樹君

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西江 忍君

農林水産課の当初予算資料の28ページをお持ちでしたら、お願いいたします。下のほうに、伊江村のポンチ絵がございますけれども、南北に赤で区画されている部分、東側を1期工事、西側を伊江2期として採択をする予定です。と申しますのは、ここで事業概要のところの後期が7年、おおむね事業実施要綱等でこの集落排水事業の工期が7年と定められておりますので、これだけの多くの区域の受益7年というのは、基本不可能なのかなと思っておりますので、その辺の配慮もいただきまして、県において1期、2期に分かれているところがございます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

2番 並里晴男委員。

○ 2番 並 里 晴 男 委員

大きな事業でありますので、その事業、期間の中は、相当いろんな苦労もされるかと思いますが、海の環境とか、そういったためにぜひ細かいところは細かいところでひとつ計画をしていただければと思います。

あと1点、お伺いします。歳出60ページ、同じく14節工事請負費の中の細節628、水産環境整備事業、これは中間浮き漁礁ということで、参考資料にもものっかっていますが、参考資料の図面のほうがなかなか把握できなくて申し訳ありませんが、この設置場所の経緯、移動、場所はあるわけですが、伊江島のどこから大体どの方向に何百メートルとか距離がわかりましたら、設置場所について、お伺いします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西 江 忍 君

位置図が見えにくくて、大変申し訳ございません。伊江村の起点が伊江島灯台になっております。伊江島灯台から方向的に言うと北東になるのか。73.5キロぐらいのところに設置を、約75キロほど離れております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

2番 並里晴男委員。

○ 2番 並 里 晴 男 委員

その場所は、平成21年から22年にかけて設置された場所だということで、事業説明にもありますが、やはり近年、漁場のほうでもなかなか魚を獲る量が少ないと。あるいは地域的にはソデイカ漁とか、随分遠くまで行かざるを得ないということも聞いていますので、この中間浮き漁礁によって、また多くの魚が獲れるようになればいいのかと思っておりますが、この事業の工程について、国県からの内示を受けた後、どのぐらいの時期で工期、この漁礁が完成して設置する予定期間について、お伺いします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西 江 忍 君

工事の工期というか、予定ということですがけれども、令和3年度は伊江村のほか、北部の2市町村も同じように浮き漁礁の更新を計画している市町村がございます。並里委員、御承知のとおり、パヤオを運ぶためにも大型のバージ船が必要となってまいります。単独でバージ船をチャーターすると、それなりの費用もかかりますので、この辺は北部の2市町村とも連携を図りながら、バージ船をうまくこの工事の時期をしっかりと調整いたしまして、改修設置等、時期を合わせながら、できれば工事費を安くあげるような方向で予算採択は、ほかの市町村とも連携を図って調整していきたいと考えております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

2番 並里晴男委員。

○ 2番 並 里 晴 男 委員

2市町村ということで、このほかの地区の村は公表できますか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西 江 忍 君

本部町と今帰仁村でございます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

2番 並里晴男委員。

○ 2番 並 里 晴 男 委員

その町村ともよく連携をして、ぜひ早めに設置をすることを要望しまして、質疑を終わります。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島 袋 義 範 委員

49ページ、畜産業費に関連してお伺いします。私は去る12月定例会で、畜舎の移転に伴う水道引き込みの補助金について、増額したらどうかと質問をいたしましたけれども、今回も費目存置になっていますけれども、この規定の改正、そのときの村長の答弁は、長くなっているので改正したいと答弁がありましたけれども、その後この規定の改正はなされたのか、村長お伺いします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西 江 忍 君

島袋委員から去る12月に一般質問で質問を受けまして、その後内部でも調整をいたしました。まずは通常ですと公共がやる単価と、民間がやる単価がございます。その辺の積算をまずはしっかりやっけていこうと。その後現行の一律助成にするのか。それとも単価別の団体の補助金を出すのかというのを、しっかりと見積りを出してから、内部で調整していこうということで、その他にもまずは和牛改良組合と今後、総会がありますので、その中でも本当に集落外移転が今後何件ほどあるのか。全体像がまだはっきり見えていませんので、それも含めて和牛改良組合、畜産農家とも調整していただいて、そのままのこの集落外移転の補助金でいいのか。それとも毎回叫ばれているスクラップアンドビルドをして、その他の補助助成に変えていくのかということも含めて、今後検討させていただきたいと思っています。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

6番 山城善彦委員。

○ 6番 山 城 善 彦 委員

49ページの畜産業費の細節101. 畜産総合施設整備等検討委員報酬に関連して質疑します。これからいろいろと工事が進んでいく中で、そういう施設整備検討委員会、その中でいろんな今後のことを決めていくと思うんですが、この中で例えば指定管理とかその件とか、専門の技術者の育成に当たる研修あたりはいつごろ決める予定ですか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西 江 忍 君

細節101. の畜産総合施設整備事業等検討委員会ということで、「等」を入れたのは、今後の施設整備もそうなんですけれども、運営も含めて検討していこうということで「等」を入れてございます。この今後の運営等についての協議も、現状はまだ令和元年度分の繰越しの工事をやっている段階ですので、もうしばらくして建物が見えてくれば、自ずと運営のほうの例えば中で働く作業員の確保であるとか、指導する方であるとか、この辺も出てくるのかと思っていますので、まずは建築の推移を見ながら、去年はなかなかコロナ禍ということで招集もできませんでしたが、今年度は年明ければ早い時期に建物もどんどん基礎等が入ってくれば、物が建物が建つ姿が見えてくるので、随時開催はしていきたいと考えております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

6番 山城善彦委員。

○ 6番 山城 善彦 委員

工事の進捗状況で、そういうような形だと思いますが、懸念していることがありまして、皆さん御承知かどうか分かりませんが、まだ決定ではないんですが、JAの肥育部門といいますか。本島の肥育センターあたりを全部閉鎖しているという、まだ本決まりではないんですけど、そういう話が今、浮上しているという形があります。そういった中で、伊江村の畜産センター、今は牛はいません。もう閉鎖です。ちょっと疑問に思いますよね。総合施設の中で150頭の肥育センターをつくる予定をしているんです。それもJAも絡んだ中で検討委員会の中で進めてきたわけです。そういった中で、多分課長あたりはそういう閉鎖したことを承知しています。

○ 委員長 内間 広樹 君

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西江 忍 君

JAの肥育センターにつきましては、閉鎖という相談もなかったし、報告もありませんでした。最終的に、知ったすべは担当から、「いやもう1頭もいませんよ」ということでの報告があって、初めて閉鎖したのがわかった次第でございます。

○ 委員長 内間 広樹 君

6番 山城善彦委員。

○ 6番 山城 善彦 委員

そこら辺が懸念するんですが、そういった中で、例えば畜産センターが何年前ですか、四、五年前に閉鎖すると一回出たんです。理事会で決定しましたということで、閉鎖が決まってから島のほうに来て、そういう説明をしたものだから、「おかしいでしょう」と、閉鎖する前にちゃんとそういう形で、改良組合あたりと調整すべきでしょうということで、いろいろと議論をして継続してもらったんです。そういった中で今、総合施設の話が立ち上がって、こういう現状があるんですけど、どう考えてもおかしいんです。伊江島ブランドというものを守るためにそうしようという話をやって、今はもう閉鎖されて、伊江島に牛がいないですから。伊江島からの生産地「伊江島」というのがないですから、トレーサビリティということで、もう「いえじまブランド」ということは使えないんですよ。そういったこともありますので、ちょっと理解できないところがいっぱいあるんですけども、そういった中で今後、指定管理というような状況が出てきたりというふうにして、どうしてもJAが中心にならざるを得ないような形があると思いますが、今の現状を考えたときに、どういうふうに当局として考えていくのか。そこらを全体的な方向性だと思いますが、村長どう受け止めていますか。

○ 委員長 内間 広樹 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋 秀幸 君

JAが運営をしていました肥育の畜産センターの廃止というのは、非常に残念に思っております。その辺、農林水産課長からもありましたが、私も直接JA本店、あるいは伊江支店からの報告は受けておりません。ほかからの報告で知った次第でありますので、その辺はまた次、理事長あるいは役員の皆さんに会うときには、申し上げていきたいと思っております。

御質疑の、畜産総合施設整備検討委員会について、私なりに審議していただきたいのは、やはり農家の利用料金、そして山城委員がおっしゃっているようにJAおきなわも懸念している。要するに改正ですね。人員の確保をどうしていくか。今の人員が即、使えるのであればいいんですけど、その辺ができなければ、私はずっとJAに申し上げているとおり、村とJAで半分ずつ出して給油所とかその辺のところに研修に行か

せませんかという話もして、その辺の正式な回答はいただいておりませんが、方向的にはJAが採用して、職員を確保できない場合は、そういう方向性で進むのではないかと考えております。

そして、畜産総合施設の肥育牛について、「これはやりません」という報告はありませんから、私はこれはしっかりと新しくやれば、JAの責任の中において今は東にいていますよね。その部分を東、そのまま存続するのか、伊江島も両方やるのか。東を廃止して伊江村だけにするのか。わかりませんから、その辺の部分は追い追い、そういう中で話はしていきたいと考えております。

また、JAの中からは指定管理する前に、伊江村よりもJAが予備協定を結びたいと言っていますから、今後この予備協定に向けてのすり合わせが本格的に始まると思っています。そういう中で村の立場、伊江村の農家の立場、その辺も申し上げながら、指定管理に向けた協定書の内容について、予備協定の中でしっかり、村の要求すべき部分は要望していきたいと考えております。特に、肥育牛については、しっかり議論をしながら、県内のどいった考え方を肥育牛の経営について、JAは思っているのか、その辺も含めて確認をしながら、伊江村の畜産総合施設の指定管理に向けての予備協定の中でしっかりしていきたい。利用料金、人材育成、この職員の確保、それと将来的に今、私には5年間はしっかりやりますけど、5年以後はもう白紙ですという部分もありますから、その辺はJAは5年間はやってくれと言っています。皆さんがどうしてもできないというなら、次はそれなりの民間とかこの辺も考えていく可能性もあるということも申し上げていますが、まずは5年間はしっかりとやるということですから、その予備協定の中で懸念がある事項は、しっかりと伊江村の立場を申し上げながら、協定書の締結に向けていきたいと思っております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

6番 山城善彦委員。

○ 6番 山 城 善 彦 委員

わかりました。村長が言われるとおりでございますし、この5年間の予備協定ですか。それは本当にしっかりとやっていただきたいと思っています。近頃の別にJAを非難するわけじゃないですが、経営改善云々で支店を閉鎖したり、いろんな状況がもうぱたぱたと進んでいるんです。本当に農家のほうは不信感いっぱいなんです。そういった中でこういう総合施設を今、進めているわけですから、本当にこの総合施設は島の命運をかけるんです。伊江島の畜産業は、それがかかっていると思います。これをしっかりとやらないといけないと思いますので、例えば指定管理はそういう形だとして、技術者を研修にぜひ行かさないといけないと思いますし、それは都城市ですか。宮崎県のほうからのキャトルセンターの所長あたりも見えていろいろ講演会もしてもらったんですが、そういった中で受け入れできるという話もされていまして、技術者の職員が例えば、農協職員でやってもらって、5年終わったから「はい、引き上げます」みたいなことになると、えらいことですから、そこらも十分にこういう整備検討委員会の中でしっかりと議論していただいて、それがずっと継続していけるような形を、総合施設が。そういったところも、島牛会あたりでもそういう話も出ているということも聞いていますので、しっかりと議論していただいて、この総合施設が本当に大成功に導けるような形をぜひお願いしたいと思っております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西 江 忍 君

山城委員、お説のとおりでございまして、せっかく研修に行かして、5年とか、6年ぐらい人事異動されては困りますので、この辺は村長からもありました予備協定の中でしっかりと定めて、人員の確保、人員の育成については、予備協定の中でもしっかりと定めて今後調整、検討委員会等で調整してまいりたいと考えております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

5番 島袋 勉委員。

○ 5番 島 袋 勉 委員

歳出47ページ、15節原材料費、細節101. 産業まつり試食用材料費の内容について。それと去年までであったアジアン野菜の中で冷蔵庫導入があったと認識しているんですが、現在どういった状況になっているか。多分その事業費で冷蔵庫購入されていると思うんですが、私の認識の違いでしたら訂正しますが、冷蔵庫の購入があって今の現状をお伺いします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

農林水産課参事 玉城正朝君。

○ 農林水産課参事 玉 城 正 朝 君

細節101. 産業まつり試食用材料費のほうは、伊江島牛と、漁協婦人部、JA婦人部に材料費を充てております。確認しないといけないんですが、冷蔵庫のほうは事業費の購入ではなかったと記憶していますので、また確認して後でまた報告したいと思います。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

5番 島袋 勉委員。

○ 5番 島 袋 勉 委員

冷蔵庫の件はちょっと自分もうろ覚えですから、状況確認とどういった経緯で導入されたか、後で報告をお願いします。

細節101. 産業まつり試食用材料費に関しては、今回一般質問の中で提言するのを忘れていましたので、この質疑の中でお願いしたいと思います。チューパンジャまつりプラス産業まつりが今、一体化として考えてのことだと思えます。私たち子どもたちの入学先ということで、北部農林高校等も入っていますよね。そういった北部農林高校等の食品加工科ですか、その科ははっきりわからないんですが、そういった加工を専属とする科があると思えます。子どもたちの協力を得て、伊江島の特産品、伊江島牛もしかり、マンゴーしかり、伊江島ラッキョウしかり、伊江島ニンニクしかり、そういったものを利用しての加工品、並びに調理品、調理した試作品を農林高校を通して、加工科に食品加工の開発ですか。を委託したらどうかというものを提言したいと思えます。そして産業まつり等で料理の部、加工品の部コンテスト、それは伊江島に関連する皆さんを通したコンテストを今までやったことがあるかどうかわからないんですが、そういったコンテストもやって、その試食を村民にさせていただいて、新しい加工品とかの開発に取り組むのも一つの手ではないかと思えますが、その検討を一回はやっていただけないかと思えますが、どうですか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西 江 忍 君

過去にも、村出身の子でありますけれども、北部農林高校でラッキョウまんじゅう等の開発をしたいということで、お話がありまして、そのときにはいくらか村の農林水産課が持っています原材料費のほうで、原材料費等を補助したといえますか。そういった経緯もございます。この北部農林高校が、そういう学校を挙げて食品開発等がまずできるのかどうかというのも、まだ定かではございませんので、まずは学校側に産学官連携みたいなこの辺の事業構築を、事業の中で取り入れてできるのかというのも、まずは先に確認させてから、可能であれば今後調整していきたいと思っています。

コンテストについても、まずは本当に農林高校のほうで、これの開発をやってくれるかというのが先ではないのかなと。それができなければ、やはり加工品等、島の原材料使った商品等が開発できませんので、ま

ずはその辺を先に確認をさせていただきたいと考えております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

5番 島袋 勉委員。

○ 5番 島 袋 勉 委員

私が言うコンテストというのは、農林高校生を使ったコンテストの意味合いではないです。伊江島にも各食堂等ありますよね。そういった食堂もある。そういった中で、一般個人でもかまいませんので、地元の特産品を利用した加工品、並びに料理等を一般募集をして、何々の部ということで特産品の部ということでつくって、それを利用した加工品、そして料理等のコンテストをやったらどうかという提言です。一般の方でも大分いいアイデアとか持たれている方もいっぱいいるんです。こういったときを利用して、発表するののも一つの手だと思うんです。コンテストを開くことによって、また次の開発、こういう方ができるのであれば、私たちも次、応募しようとか。皆さん、興味を持っていくんじゃないかと思っただけの提言です。これは急にできることではないんですが、そういった情報交換、情報収集も令和3年度でぜひやっていただきたいと思います。どうですか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

商工観光課長 島袋英樹君。

○ 商工観光課長 島 袋 英 樹 君

委員、お説の趣旨内容につきましては、ご当地グルメ、当地の食品、そういったものの活用した形での、いろんな意味での全国であっちこっちあるB級グルメと言われる部分の食の加工、そういったものについて、うちの課の観光振興協議会においても、部会において、やはり島を訪れる観光客の食を、腹を満たす意味でも、その辺の部分が必要じゃないかという提案はいただいておりますので、委員お説の部分につきましては、チューパンジャまつりの中でもできるかどうか。早速、検討させていただきたいと思っております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀 里 敏 郎 委員

60ページの細節630. と、それから先刻の並里委員のパヤオに関する質疑とも少し関連しますけど、質疑の前に御礼といいますか。令和3年度は水産振興に多大な予算を計上していただきまして、大変ありがとうございます。私は大昔、水産業に携わった者から御礼を申し上げたいと思っております。

まず1点目に、先ほど並里委員からありました中層パヤオに関してですけれども、大変結構なことだと思います。ただ一つ懸念することが、皆さんがおわかりかどうかわかりませんが、中層パヤオそして国からのあれだけの大きな予算をいただくときは、対象漁業者がすごい大事なことなんです。そこはどうなっているのでしょうか。わかりやすく言うと、伊江漁協、そして北部の漁業者だけが使えるのか。それとも宮崎、鹿児島も来て、自由に操業できるか。以前に大きなトラブルもありました。その辺はぜひ確認をしたいと思っております。

それから630. の伊江村水産振興事業におきまして、いつぞやイーハッチャーにありました漁協長からの要請にもありました。エンジンの載せ替えについてもありました。この度は3,200万円という大きな予算計上されておりますけど、この機関載せ替えについては、何隻を予定されているか。

それと補助率はいくらなのか。つまり漁業者の自己負担はどうなるのか。そして実際、この事業はいつごろから開始をして、いつごろに終わるのか。その4点お願いします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西江 忍 君

まず亀里委員の2点目の水産業振興事業のほうから、お答えさせていただきます。現在、補助金ということで3,100万円の予算計上を本予算にお願いしているところがございます。まずはこの水産振興事業の中で機関換装がやはり、どうしても漁業者からの要望が多かったものですから、まずは3,100万円という予算の中で、3隻ないし、4隻は毎年度できるのかと思っております。まさに今、予算可決後の調整に向けて補助元とも今、予算可決後調整していきたいと思っておりますけど、それは当然、伊江漁協とも内部でも調整しながらやっていきたいと思っております。今現在25隻ほどの希望がございましたので、7年ないし、8年ぐらいでは何とか、皆さん一通り機関換装ができるような方法を考えております。

○ 委員長 内間 広 樹 君

休憩します。

(休憩時刻15時27分)

再開します。

(再開時刻15時27分)

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西江 忍 君

環境整備事業を平成21年、22年に設置したパヤオの更新事業でございますけれども、村営、団体営で工事いたしましたので、伊江村の漁家であれば、特段問題なく漁はできるのかと感じております。

○ 委員長 内間 広 樹 君

休憩します。

(休憩時刻15時27分)

再開します。

(再開時刻15時29分)

11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀里 敏 郎 委員

これ大事なことです。確認できたら、願わくば北部の漁協の組合員の皆さん、そして拡大しても、県内の漁業者に使っていただくと。そういうことはぜひ確認をとっていただきたいと思っております。そして630.の3隻から4隻、今年やりますと。補助率について伺ったんですけど、その辺はいかがでしょう。

○ 委員長 内間 広 樹 君

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西江 忍 君

補助率ということでございますけれども、3,100万円の中で、機関換装、エンジンの載せ替えをすると、村内の漁船で一番多いのが大体14トンから16トン級が一番、隻数が多いです。事業者見積り取ってみますと、2,000万円から2,500万円の更新費用が見積りされておりますので、できる範囲でいうと新古のエンジンもできるような形で、中古のエンジンも新古のエンジンも更新できるような形で、まずは予算を確保して、補助元とその辺の調整をしていきながら、願わくば2分の1ぐらいは出したいと思っております。ただこれは確定ではございませんので、今後補助元とも調整に入らせていただきたいと思っております。

○ 委員長 内間 広 樹 君

11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀里 敏 郎 委員

ただこの補助率については、エンジン載せ替えについてもわからないのは、ずっと昔のことで申し訳ないんですけど、8%新規漁業には補助しようということで、村ともやり取りをしたことがあるんです。新規漁業をやるときに。こうして漁船購入についてもそういうやり取りをしたことがあるんですけど、その辺のところはこのエンジン換装になりますと、載せ替えになりますと、額が大きいものですから、あの率では少し組合員も厳しいと思っておりますので、ぜひこの辺村長、できる限りの努力をしていただいて、漁業者に

は負担のかからないような方策をとっていただきたいんですが、いかがでしょうかね。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

補助率については、農林水産課長から、例えば70%、60%という部分は、補助元との調整もありますが、やはり25隻の要望があるわけです。そこをやはり補助率をある程度抑えて、多くの皆さんが早く機関換装してもらいたいのか。あるいは補助率をある程度高くして、先ほど農林課長がいったように3隻ぐらいで漁協もその辺で補助率が高いほうがいいのか。今後の事業の推進の中の調整、伊江村漁業者、漁港そして調整交付金を活用する予定ですから、その補助元である沖縄防衛局、この中で補助率は定めていくと思っておりますが、先ほどあったように機関換装、費用が非常にかかりますので、それが漁家経営の大きな負担になって、エンジンの載せ替え、あるいは後継者の確保にも非常に難渋しているし、安全な操業の確保にも支障があるということで、今回この事業を推進したいと思っております。亀里委員がおっしゃるように伊江村の水産業振興事業とまた別個の、これまでの水産業費とは別個の観点から、そういう補助の規定はつくり直してやっていきたいと思いますが、補助率については、先ほど言った背景もありますから、関係者で協議をしながら2分の1以上の補助率でやれば、ある程度関係者の中では、私が言った事業の進捗、あるいは漁家の負担とか考えたときに、50%を基準としたいろんな案で調整が進んで。いずれにしても早めにそういう漁家の皆さんの要望には応えていきたいと思っております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

11番 亀里敏郎委員。

○ 11番 亀 里 敏 郎 委員

大変前向きな答弁でしたので、安堵はしておりますけれども、担当の課の皆さんはぜひその従前の伊江村自体の補助率は全く別として、なるべく高い補助率を導入してあげて、ぜひ安心して操業できるように、皆さん御承知のとおり、大変遠くなりました。私の時代からもう10倍ぐらい遠くなっています。漁業者にとってはエンジンというのが命ですので、ぜひその辺を勘案されて、補助率も高くしていただいて、希望する25隻が一日も早く、エンジンの載せ替えができるように強く求めまして、質疑を終わります。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

休憩します。

(休憩時刻15時36分)

再開します。

(再開時刻15時38分)

9番 内田竹保委員。

○ 9番 内 田 竹 保 委員

林業費に関してなんですが、村の育苗施設で、たくさんの苗木あるいは花など栽培されて、大変品種も多くなって喜んでおります。その中でセンネンボクというのがありますが、それはどういう木かということ、今頭で想像してください。工場通りを東側に行って、そこにハウスがあるんです。そのハウスの南から西にかけて、それを植え付けしてから丸1か年ちょっとなんです。それがハウスとか防風防潮林には最適だというようなことで、話がありまして、早速私も疫防センターに行きましたけれども、苗床にですね。それが無いということで、ちょうどその苗床の道東のほうに西江上の山城久光さんの葉物です。ハウスがあつて、そこには見事にそのセンネンボクがあるんですよ。主が分かったものですから、早速お願いをして80本ほど分けてもらいましたけれども、非常に成長が早いんです。植え付けするのも簡単なんです。穴を掘ったりいろいろとしないで、20、30センチ差し込むだけで、もう1週間後からは、中心の芽が出るということで、大変防風防潮林には最適じゃないのかというような思いがあるものですから、ぜひそのセンネンボクを育苗施設あ

たりで栽培をして、広げる方法はないのかと思っておりますが、検討をひとつお願いしたいと思います。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

農林水産課参事 玉城正朝君。

○ 農林水産課参事 玉 城 正 朝 君

センネンボクはこれまで、農家のほうから、そういった要望がなかったので、苗畑では生産はしていなかったんですが、今回そのお話を聞いて、まずは生産している農家のほうで、その苗木を見ながら、すぐ生産できるのかどうか、試しながら、また農家のほうにはそれを植栽できるのか調整をしながら、検討して進めさせていただきます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

9番 内田竹保委員。

○ 9番 内 田 竹 保 委員

もう1か所は、植え付けしてから2か年経過しているんですが、もう1メートル80以上なんです。それは伊江小の近くのハウスの周辺に植えているところがありますが、非常に防風防潮林としては最適じゃないのかなと。その外に例えばクロキとかフクギとかそういったものも植えて、完全に畑周辺でも非常にすばらしいものだと思います。先ほど言ったように、そんなに管理もいらなくて、路面の草ひきぐらいが。あとは肥料を少し入れたり、堆肥を入れたりすれば、自然に成長するというすばらしい木ですので、ひとつ検討をお願いしたいと思います。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

5番 島袋 勉委員。

○ 5番 島 袋 勉 委員

歳出54ページの10日の堆肥センター運営費に関連して質疑します。令和2年度で導入いたしました草地の根切り機、これまでの状況、実績、報告をお願いします。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

農林水産課参事 玉城正朝君。

○ 農林水産課参事 玉 城 正 朝 君

今年度、根切り機、ホイールローダーを購入いたしました。前回の運営委員会時にどういう利用をするのか。勉強も兼ねてその使用状況を確認しております。実績についてはまだ確認をしていないので、確認でき次第、また報告したいと思います。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

5番 島袋 勉委員。

○ 5番 島 袋 勉 委員

実績はあるということで理解してよろしいですか。実際に農家サイドが利用しているのかどうか。それとも運営委員会でただ検討して、今は農家サイドが使っていないのかどうか。そこだけでもわかりませんか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

農林水産課参事 玉城正朝君。

○ 農林水産課参事 玉 城 正 朝 君

実績はあると思いますので、そこで堆肥センターに再度確認をして、実績を報告をさせていただきたいと思えます。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

休憩します。

(休憩時刻15時45分)

再開します。

(再開時刻15時45分)

農林水産課参事 玉城正朝君。

○ 農林水産課参事 玉城正朝君

確認できたので報告したいと思います。今、試験的に、前回の運営委員会後に動かして、試験的にしかまだやっていないということで、これから実績が出てくると思いますので、またそこで報告したいと思います。

○ 委員長 内間広樹君

5番 島袋 勉委員。

○ 5番 島袋 勉 委員

できるだけ実績を上げるためにも、梅雨時期前までには、もし農家サイドから「どんどん使いたい」という声があれば、使わせるほうがいいと思います。梅雨時期に入ってからやりなさいといっても、とてもじゃないけど、根切り機を草地に入れると逆効果になるので、梅雨時期前にその根切り機を使って、堆肥を散布することによって、年間通しての一番雨量が多い前に根切り機を使って、堆肥を散布すると。理想的な状況が出てくると思うんです。ぜひ行政のほうから、農家サイドにこういったものが入っていますよと。再度アピールして、できるだけ梅雨時期前にそれを使って、根切り機を使って切って堆肥の散布をお願いするというので、どんどん情報提供をしていただきたいと思いますのですがどうですか。

○ 委員長 内間広樹君

農林水産課参事 玉城正朝君。

○ 農林水産課参事 玉城正朝君

委員お説のとおり、せっかく備品を揃えておりますので、今は実証試験をやっているところでもありますので、その実証試験の結果も農家のほうに報告しながら、またそういった備品もありますというアピールもしながら、利用を進めていくような形で進めていきたいと思います。

○ 委員長 内間広樹君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名嘉 實 委員

山城善彦委員の質疑とかぶるところがあるかと思いますが、畜産総合施設整備事業について、伺います。49ページ、予算要求説明書の1ページには、伊江村畜産総合施設整備事業の内容が書かれていますが、総事業費が16億300万円、元年度が5,400万円、2年度が9億800万円、令和3年度が6億4,100万円、その下に移って施設名から、妊娠牛預託施設336頭で、子牛預託施設が324頭、肥育センター144頭、繁殖研修施設42頭、そういうふうになっているんですが、その運営計画については、今のところ何もないんですか。

○ 委員長 内間広樹君

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西江 忍 君

運営計画についてということなんですけれども、先ほど山城委員の質疑のときにも村長から答弁がありましたとおり、今JAが指定管理として、管理者として今予定をしております、その中でしっかりと今後、検討委員会等でこの運営方法についても、議論がされていくのかと思っておりますので、ひとつもうしばらくお待ちいただけないかと思っております。

○ 委員長 内間広樹君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名嘉 實 委員

妊娠牛預託にしる、子牛預託にしる、農家に見れば、預託費がいくらなのか。そういうところが気に

なるところなんです。だから先ほど山城委員からあったんですが、肥育センターを中央会は潰しているということで、肥育センターは伊江村の子牛が安い時期は会支えて、価格の維持をしてきたわけなんです。こういうものがなくなった場合、施設は作っても中身はないと。がらがらになってしまうというようなことになると、村当局も予算を通した議会も村民から笑われてしまうのではないかと思います。

しかも、議会報告会もあります。今のような状況では、施設はつくる計画はありますと。中身はわかりませんということになる報告になりますよ。どうですか。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

農林水産課長 西江 忍君。

○ 農林水産課長 西 江 忍 君

本予算、昨年度までは施設整備の検討委員会というのもございました。その中でもしっかりと今回、畜産総合施設で整備する妊娠牛預託施設、子牛預託施設、肥育預託施設、その他繁殖研修施設等については、その検討委員会の中でもJA本店から畜産担当の部長が参加しておりましたので、当然JA自体もこの辺の視察の整備する施設の概要というのは知っていて、当初からJAに指定管理をしていただくという方向で検討委員会も進めてまいりました。今後も、施設整備の検討委員会において、具体的な運営方法については、これは委託料金も含めてなんですけれども、しっかりとうちのほうでも、農家のアンケートを取りながら、まずはJAのほうでどれぐらいの収支で預託ができるのかというの、しっかりと見極めながら、施設整備等委員会の中で議論をさせていただきたいと考えております。

○ 委員長 内 間 広 樹 君

休憩します。

(休憩時刻15時53分)

再開します。

(再開時刻15時59分)

以上で本日の日程は終了します。

本日は、これで散会します。

(散会時刻15時59分)